

[報告事項1]

「2025（令和7）年度事業報告」について

事業報告
実施事業
付属明細書

以上

2025年度 事業報告

1. 事務所移転と環境整備

公益財団法人京都新聞社会福祉事業団（以下、事業団）は、京都新聞本社ビルの再開発計画に伴い、2025年9月16日（火）、事務所を京都新聞トラストビル4階（京都市中京区烏丸通二条上ル蒔絵屋町260）へ移転し、業務を開始しました。

（1）事務所移転に伴う環境整備の概要

今回の事務所移転にあたっては、以下の2点（①、②）を重点事項として環境整備を進めてまいりました。

①執務環境の最適化と柔軟な働き方の推進

新事務所の執務空間（25.2坪）を有効活用し、職員間のコミュニケーション活性化と柔軟な働き方の実現を目的として、固定席を設けないフリーアドレス制を導入しました。これに伴い、可動性に優れたデスク、ワゴン、OAチェア等の什器を新規配備しています。

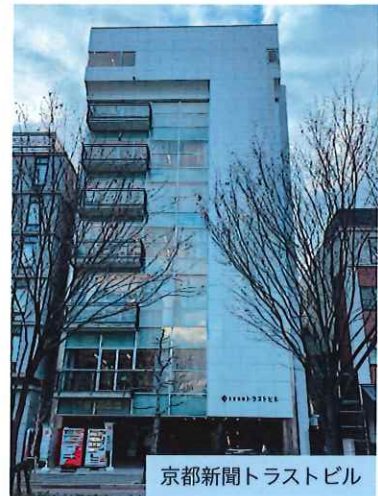
なお、旧事務所で使用していた什器については、京都新聞グループの廃棄品を有効活用してきましたが、経年使用に伴う更新時期を迎えていました。

②寄付者対応機能と情報発信力の強化

寄付者の皆さまを円滑に迎え入れるため、独立した応対スペースを確保し、応対用テーブル、チェアを設置しました。また、執務スペースとの区分については、業務状況に応じて柔軟に変更可能とするため、可動式パーテーションを導入しました。

さらに、寄付金受領時の記録・広報活用を目的として、壁面に大型の常設バックボードを設置し、情報発信機能の強化を図りました。

加えて、移転先ビルの正面玄関が無人受付であることから、タブレット受付の操作に不慣れな来訪者が複数確認されたため、事業団専用のインターホンの新設しました。あわせて、ご高齢の方、視覚障害のある方、車いす利用者等にも配慮し、点字対応を含む専用案内ボードを設置するなど、誰もが安心して来団できる環境整備を行いました。



京都新聞トラストビル



フリーアドレス備品



常設バックボード

寄付者対応備品



インターホン

③内装工事について

執務エリアにおける内装工事を行いました。本工事については、ビル管理会社である株式会社京都新聞プロパティーズとの協議により、入居団体側の負担区分として指定されたことを受け、当該費用（61万9,300円）を支出しています。

以上の環境整備により、事務所移転に係る支出総額は438万5,361円となりました。

事務所移転に伴う「什器備品明細」および「工事費」

単位：円

単位：円

表
1

執務スペース フリーアドレス 対応事務所 什器備品	オカムラ	フリーウェイデスク 8人用	502,370	1台	502,370
		ワゴン	84,262	8台	674,097
		オフィスチェア	90,112	8台	720,893
		平机（プリンター用）	43,500	1台	60,586
		スチールキャビネット	161,352	4台	645,406
		プリンタースタンド	29,920	2台	59,840
		プリンタースタンド	8,730.5	2台	17,461
		可動式パーテーション	121,449	2台	242,898
		小計			2,923,551

寄付者対応 スペース備品	amazon	ミーティングテーブル		一式	88,710
		キャスターチェア4脚セット	52,400	2セット	104,800
	壱彩堂	常設バックボード施工	99,000	1式	99,000
		小計			292,510

内装工事	オカムラ	内装設計・工事費用	619,300	1式	619,300
------	------	-----------	---------	----	---------

インターホン	高松テクノ サービス	インターホン・サインボード 設置工事	550,000	1式	550,000
--------	---------------	-----------------------	---------	----	---------

総合計					4,385,361
-----	--	--	--	--	-----------

※全て消費税込み

なお、会計処理については、上記表1の青枠で示した取得価額が10万円以上の資産、すなわち「フリーウェイデスク（50万2,370円）」および「スチールキャビネット（64万5,406円）」「可動式パーテーション（24万2,898円）」「内装設計・工事費用（61万9,300円）」「インターホン設置工事（55万円）」については固定資産として計上し、それぞれ耐用年数に応じた減価償却を行います。一方、取得価額が10万円未満の什器備品および工事費については、適正な費用区分に基づき当期費用として処理しております。

(2) 新事務所の維持管理コストと財務支援

新事務所の賃借料および当年度における財務支援の状況は以下の通りです。

①賃借料等の支出実績

新事務所の賃借にあたっては、月額賃料27万7,200円（税込）、共益費8万3,160円（税込）の合計36万0,360円（税込）を支出しています。

当年度（2025年9月～2026年3月）の7カ月間における賃借料総額は、252万2,520円（税込）となりました。

単位：円／すべて税込

表

	①賃料	②共益費	①+②合計
月額	277,200	83,160	360,360
2025年9月～2026年3月（7カ月）	1,940,400	582,120	2,522,520

②財務支援の受入れと固定費負担の軽減

事務所移転に伴う固定費負担を軽減し、公益事業への原資を安定的に確保するため、当年度は株式会社京都新聞ホールディングスより、月額15万円の寄付を受領しました。7カ月間の受領総額は1,050,000円となり、この支援により移転後のコスト増を抑制し、安定的な事業運営を維持することができました。

単位：円

表

	①賃料・共益費合計 （税込）	②京都新聞HD 寄付	①-②残額
2025年9月～2026年3月（7カ月）	2,522,520	1,050,000	1,472,520

2. 事業見直しによる財務体質改善

当年度は、寄付者の高齢化等に伴う寄付金収入の減少傾向を鑑み、持続可能かつ安定的な事業運営の確立に向け、事業の再編・見直しによる支出抑制を徹底しました。

5事業の見直し

（単位：円）

表

事業名	①2024年度決算	②2025年度決算	2024年度比差額 ② - ①
① 京都新聞福祉活動支援（通常枠・助成額）	5,000,000	4,000,000	-1,000,000
② 障害のある人の工賃増へ向けての取り組み助成 （助成額／2025年度以降 福祉事業所フェス）	2,000,000	800,287	-1,199,713
③ 全京都車いす駅伝競走大会	167,643	0	-167,643
④ 高齢者配食サービス支援（贈呈額）	236,122	0	-236,122
⑤ とともに生きるフォーラム	234,366	0	-234,366
合 計	7,638,131	4,800,287	-2,837,844

①京都新聞福祉活動支援（通常枠）

助成額：2024年度500万円→2025年度400万円（100万円減額）

②障害のある人の工賃増へ向けての取り組み助成（再編）

助成額：2024年度 200万円→事業費：2025年度80万287円（119万9,713円減額）

助成事業を休止し、「京都新聞福祉事業所フェスティバル」へ移行

③全京都車いす駅伝競走大会

事業費：2024年度16万7,643円→2025年度0円（16万7,643円減額）

前年度は9月に府立丹波自然運動公園ほかで開催予定（100万円を予算計上）でしたが、台風接近の影響で開催中止となりました。当年度は、予算額を75万円に減額していましたが、他大会との日程重複により、会場調整が困難となったため開催を断念しました。次年度以降、実行委員会において継続の是非を協議します。

④高齢者配食サービス支援

贈呈額：2024年度23万6,122円→2025年度0円（23万6,122円減額）

申請団体減少により、当年度より実施見送り。

⑤ともに生きるフォーラム

（事業費）2024年度23万4,366円→2025年度0円（23万4,366円減額）

事業開始から11年間が経過し、一定の役目を終えたと判断し休止。

今後は、社会的関心の高いテーマが生じた場合に、単発事業として開催を検討します。

上記の見直しにより、当年度において、

・前年度比 283万7,844円の減額

を実現しました。

これにより、財務体質の健全化を図るとともに、現行の人員規模に見合った効率的な事業執行体制を構築し、組織としての持続可能性の向上を実現しました。

3. 高額寄付による増収および基金資産の取り崩し抑制

(1) 米田多智夫様からの寄付

2024年度および2025年度において、オーシャン貿易株式会社（京都市中京区）の創業者・名誉会長である米田多智夫様より、総額1億5,365万円にのぼる高額寄付を受領しました。

本寄付は、複数年度にわたる事業展開および基金活用を前提としたものであり、当財団の事業拡充と財務基盤の安定化に大きく寄与しています。



【寄付受領の経過と主な活用内容】

2024年10月（5,000万円）

- 「米田多智夫基金」に繰り入れ、2025年度事業として以下の事業に充当
- ・「京都新聞愛の奨学金」支給事業 2,000万円
 - ・「京都新聞オーシャン号」贈呈事業 3,000万円

2025年4月（365万円）

「京都新聞オーシャン号」贈呈事業の先行実施として「オーシャン号0号車」1台を贈呈

（単位：円）

表

寄付受領	寄付額	充当事業
2024年10月	20,000,000	京都新聞愛の奨学金
	30,000,000	
2025年4月	3,650,000	京都新聞オーシャン号贈呈事業
合計	53,650,000	

「京都新聞オーシャン号（福祉車両）贈呈事業」

京都府・滋賀県内の福祉関係9団体に対し、車いす積載車など福祉車両9台（※0号車を含む）を贈呈

2025年4月21日（月）0号車贈呈式 京都新聞本社

2025年9月 9日（火）オーシャン号贈呈式

京都日産自動車南店ショールーム



◎本事業については、予算額3,365万円に対し、決算額は3,260万6,663円となりました。差額104万3,337円については、寄付者である米田様ので承を得たうえで、「米田多智夫基金」に繰り入れ、特定資産として区分管理し、2026年度以降に実施する「京都新聞愛の奨学金」の原資として活用します。



2025年10月（1億円）

これまでの事業実施をご評価いただき、追加の高額寄付1億円を受領しました。

（単位：円）

寄付受領	寄付額	充当事業
2025年10月	100,000,000	京都新聞オーシャンスマイル こども未来プロジェクト
		USJ貸切バスツアー招待事業
		オーシャンスマイル号贈呈事業
		キッチンカー派遣事業
		食事券贈呈事業

表

「京都新聞オーシャンスマイルこども未来プロジェクト」

上記1億円の寄付については、寄付者の指定使途に基づき、「京都新聞オーシャンスマイルこども未来プロジェクト」として、「児童養護施設」および「ひとり親家庭」の子どもたちを対象とした以下の事業に活用しています。



◆児童養護施設（京都府・滋賀県内 17施設）

①ユニバーサル・スタジオ・ジャパン 貸切バスツアー招待事業（2025年度事業）

児童養護施設・乳児院の児童・職員計847人を対象に、2026年3月22日（日）各施設発着の貸切バスにより招待しました。

②給電機能付き車両「オーシャンスマイル号」贈呈事業（10台 2025年度事業／5台 2026年度事業）

災害時の非常用電源としても活用可能なハイブリッド車15台を贈呈する事業です。平時は児童の送迎や外出支援に、非常時には施設運営を支えるインフラとして機能します。

2026年3月25日（水）第1回贈呈式において10台を贈呈し、6月24日（水）第2回贈呈式で残り5台を贈呈予定。贈呈式はいずれも京都トヨペット七条本店ショールームで開催。

※17施設中2施設は辞退

③キッチンカー派遣による食支援事業（2026年度事業）

2026年4月下旬から7月上旬にかけて、各施設で実施。

児童と職員に対し、日常とは異なる食体験と交流の機会を提供します。



◆ひとり親家庭（京都府・滋賀県内の支援団体および母子生活支援施設）

④ひとり親家庭への食事券贈呈事業（2025年度事業）

2025年12月、支援団体および母子生活支援施設を通じて、会員登録および施設入所の1,738世帯に対し、1世帯あたり1万円分の食事券（くら寿司）を贈呈。

物価高騰等により外食機会が限られるひとり親家庭に対し、年末年始に親子で団らんの時間を持つ機会の創出を目的としています。

●受領した寄付金 1 億円のうち、7,542万6,103円については、指定正味財産として計上し、「京都新聞オーシャンスマイルこども未来プロジェクト」に係る2025年度事業の事業費に充当しました。

また、残る2,457万3,897円については、「米田多智夫基金」に繰り入れ、特定資産として区分管理のうえ、2026年度に実施する同プロジェクトの事業原資として活用します。

(2) 京都新聞愛の奨学金

2024年度および2025年度において、「京都新聞愛の奨学金」への指定寄付として、前項の米田多智夫様からの2,000万円を含め、総額4,000万円の寄付を受領しました。

これを受け、第55回理事会の決議に基づき、2025年度当初予算3,029万5,000円（支給額3,000万円）を、3,529万5,000円（支給額3,500万円）へ増額しました。当年度支給実績確定に伴い、指定寄付金のうち3,502万2,177円を奨学金事業に充当しました。

また、残額497万7,823円（森川様寄付金の一部）については、次年度の奨学金支給に充てるため、「愛の奨学金基金」に繰り入れ、適切に管理します。

(単位：円)

表
7

寄付者	寄付時期	寄付額	2025年度支出	基金資産繰越 2026年度支出
米田多智夫様	2024年10月	20,000,000	20,000,000	-
城陽市 森川久夫様	2025年2月	10,000,000	5,022,177	-
			-	4,977,823
左京区在住 女性	2025年4月	10,000,000	10,000,000	-
合 計		40,000,000	35,022,177	4,977,823

さらに、例年実施している「愛の奨学金」指定寄付（「誕生日おめでとうコーナー」および「協賛・愛の奨学金」）による募金額 計1,005万5,204円については、当年度において高額寄付により支給財源が十分に確保されたことから、当年度の支給には充当せず、全額を「愛の奨学金基金」に繰り入れ、次年度の事業原資として積み立てました。

(単位：円)

表
8

奨学金支給事業寄付金	寄付金収入	2025年度	2026年度活用
誕生日おめでとう（決算額）	4,610,031	愛の奨学金基金に 繰り入れ	10,055,204
協賛・愛の奨学金（決算額）	5,445,173		

この結果、当年度は「京都新聞愛の奨学金」に係る基金資産の取り崩しを行うことなく同事業を実施するとともに、次年度に向けた財源の積み増しを図ることができました。これにより、奨学金事業の安定的な継続と財政基盤の強化に大きく寄与しています。

4. 公益事業基金資産について

公益事業基金資産については、「財産管理運用規程」第4条に基づき、各基金の目的に沿って適切に活用しました。

「京都新聞愛の奨学金」については、高額寄付の受け入れにより、当年度の支給総額3,500万円の全額を高額寄付金で賄うことができたため、基金資産の取り崩しを行うことなく事業を実施しました。

この結果、基金残高の維持を図るとともに、将来の奨学金支給に向けた財源の安定性を確保することができました。

表

		(単位:円)			(単位:円)		(単位:円)
公益事業基金資産	当年度	予算	増減	執行率	目的事業	当年度内訳	前年度
① 福祉事業基金資産	7,342,985	9,218,700	-1,875,715	79.7%	公益目的事業（障害者、高齢者、子どものための事業他）	7,342,985	12,026,578
					愛の奨学金	0	
② 交通遺児のための事業基金資産	164,480	166,000	-1,520	99.1%	交通遺児卒業お祝い	164,480	212,020
					愛の奨学金 交通遺児の部	0	740,913
③ 働く少年のための奨学金支給事業基金	0	0	0	—	愛の奨学金 定時制・通信制高校生の部	0	902,084
					愛の奨学金 児童養護施設	0	4,351,840
④ 児童養護施設・乳児院等の子どもたちのための事業基金資産	1,584,662	3,362,000	-1,777,338	47.1%	高校生奨学激励金	0	605,142
					児童養護施設レクリエーション	578,068	2,460,433
					児童養護施設卒業お祝い金	1,006,594	0
⑤ 愛の奨学金基金資産（森川久夫氏 寄付）	5,022,177	5,295,000	-272,823	94.8%	愛の奨学金	5,022,177	0
⑥ 米田多智夫基金資産	52,606,663	53,650,000	-1,043,337	98.1%	愛の奨学金	20,000,000	0
					オーシャン号贈呈事業	32,606,663	0
⑦ 災害救援金基金資産	6,569,384	0	6,569,384	—	災害救援金	6,569,384	0
合 計	73,290,351	71,691,700	1,598,651	102.2%		73,290,351	21,299,010

※当年度 福祉事業基金=福祉事業基金資産58,000,000円-福祉事業基金資産戻入額50,657,015円=7,342,985円

※公益事業基金資産の元本から生じた運用益は、各資産の目的事業に従って別途使用しました。

財産管理運用規程

第4条 公益事業基金資産の種類と目的

公益事業基金資産の種類と目的は、以下のとおりとする。

- (1) 福祉事業基金資産 公益目的事業（障害のある人のための事業・高齢者のための事業・子どものための事業・子育て応援事業・福祉活動支援事業・奨学金支給事業・福祉啓発事業・ボランティア活動支援事業・その他の福祉事業・チャリティー事業）に使用する。
- (2) 交通遺児のための事業基金資産 公益目的事業のうち「子どものための事業」の「交通遺児卒業お祝い」と「奨学金支給事業」の交通遺児奨学金に使用する。
- (3) 働く少年のための奨学金基金資産 公益目的事業のうち「奨学金支給事業」の働く少年のための奨学金に使用する。
- (4) 児童養護施設・乳児院等の子どもたちのための事業基金資産 公益目的事業のうち奨学金支給事業の「児童養護施設高校生への奨学激励金」「児童養護施設レクリエーション」「児童養護施設卒業お祝い金」に使用する。
- (5) 愛の奨学金基金資産 公益目的事業のうち「奨学金支給事業」の愛の奨学金に使用する。
- (6) 米田多智夫基金資産 公益目的事業のうち福祉設備助成事業の「オーシャン号（福祉車両）贈呈事業」、「奨学金支給事業（一般、交通遺児、定時制、養護施設生徒）」に使用する。今後、米田氏から寄付が続ぎ、新たな使途の指定があれば意向の通り当事業団の公益事業等に使用する。

5. 助成・贈呈・奨学金支給事業の執行状況

当年度における助成、贈呈、および奨学金給付事業については、いずれも当初計画および補正予算の範囲内で、適正かつ円滑に支援を執行しました。

事業費の総額（次頁表13）は、1億5,813万9,833円となり、予算に対する執行率は97.7%でした。前年度対比では、1億178万7,727円の増額（280.6%）となりました。

この主な要因は、「京都新聞オーシャンスマイルこども未来プロジェクト」をはじめとする新規事業の実施により、支援規模および対象が大きく拡充し、前年度を大幅に上回る支援を行うことができました。

（※各金額は事務局経費などを除いた、直接の支給・贈呈額のみを対象として比較したものです）

表
10

(単位：円)					(単位：円)		
助成事業	当年度	前年度	増減額	増減率	支給予算額	増減額	執行率
障害のある人の工賃増へ向けての取り組み助成	0	2,000,000	-2,000,000	—	0	0	—
京都新聞夏季キャンプ・レク活動を応援	500,000	500,000	0	100.0%	500,000	0	100.0%
ホームヘルプサービス活動に関する備品助成	1,377,503	1,388,406	-10,903	99.2%	1,378,000	-497	100.0%
児童養護施設レクリエーション	1,879,000	1,919,500	-40,500	97.9%	2,230,000	-351,000	84.3%
京都新聞子育て仲間を応援	1,480,000	1,600,000	-120,000	92.5%	1,800,000	-320,000	82.2%
京都新聞子育て事業助成	838,000	838,000	0	100.0%	838,000	0	100.0%
京都新聞福祉活動支援	7,000,000	10,000,000	-3,000,000	70.0%	7,000,000	0	100.0%
後援助成事業	1,520,000	1,435,000	85,000	105.9%	1,580,000	-60,000	96.2%
①助成額合計	14,594,503	19,680,906	-5,086,403	74.2%	15,326,000	-731,497	95.2%

表
11

(単位：円)					(単位：円)		
贈呈事業	当年度	前年度	増減額	増減率	支給予算額	増減額	執行率
高齢者配食サービス支援	0	209,500	-209,500	—	0	0	—
高齢者へのプレゼント	616,700	528,700	88,000	116.6%	617,000	-300	100.0%
児童養護施設生徒卒業お祝い金	2,160,000	2,440,000	-280,000	88.5%	2,500,000	-340,000	86.4%
交通遺児卒業お祝い	161,000	208,000	-47,000	77.4%	151,000	10,000	106.6%
オーシャン号贈呈事業	31,658,730	0	31,658,730	—	32,150,000	-491,270	98.5%
京都新聞オーシャンスマイルこども未来プロジェクト							
USJバスツアー	25,285,200	0	25,285,200	—	27,320,000	-2,034,800	92.6%
オーシャンスマイル号贈呈事業	30,413,700	0	30,413,700	—	30,500,000	-86,300	99.7%
ひとり親家庭食事券贈呈事業	18,330,000	0	18,330,000	—	18,330,000	0	100.0%
②贈呈額合計	108,625,330	3,386,200	105,239,130	3207.9%	111,568,000	-2,942,670	97.4%

支給事業	(単位：円)				(単位：円)		
	当年度	前年度	増減額	増減率	支給予算額	増減額	執行率
③奨学金支給額	34,920,000	33,285,000	1,635,000	104.9%	35,000,000	-80,000	99.8%

※贈呈決定後、大学生1人から辞退（18万円）があったため、最終的な支給額は3,474万円となりました。

① + ② + ③ 助成額・贈呈額・奨学金支給額 総計	(単位：円)				(単位：円)		
	当年度	前年度	増減額	増減率	支給予算額	増減額	執行率
	158,139,833	56,352,106	101,787,727	280.6%	161,894,000	-3,754,167	97.7%

6. 寄付文化の醸成と持続可能な財政基盤の確立

当年度は、事務所移転に伴う固定費増加や、寄付者の高齢化などに伴う寄付環境の変化を踏まえ、既存事業の見直し・再編を進め、限られた財源の重点化を図ってまいりました。



一方で、高額寄付の受け入れに積極的に取り組んだ結果、従来以上に幅広く、かつ手厚い公益事業を実施することが可能となりました。

その結果、限られた財源を効率的に活用しながら、新たな財源確保により公益事業全体の支援力を高めるとともに、基金資産の維持・積み増しを図ることができた一年であったと考えております。

これにより、公益事業の拡充と財政基盤の強化を両立しながら、安定的な事業運営を行うことができました。

なお、決算面につきましても、適正な事業執行および財務管理に努めた結果、表14の通り、当年度の経常収益および経常費用は、いずれも2億5,319万4,227円となり、収支相償となっております。

2025年度 決算の骨子

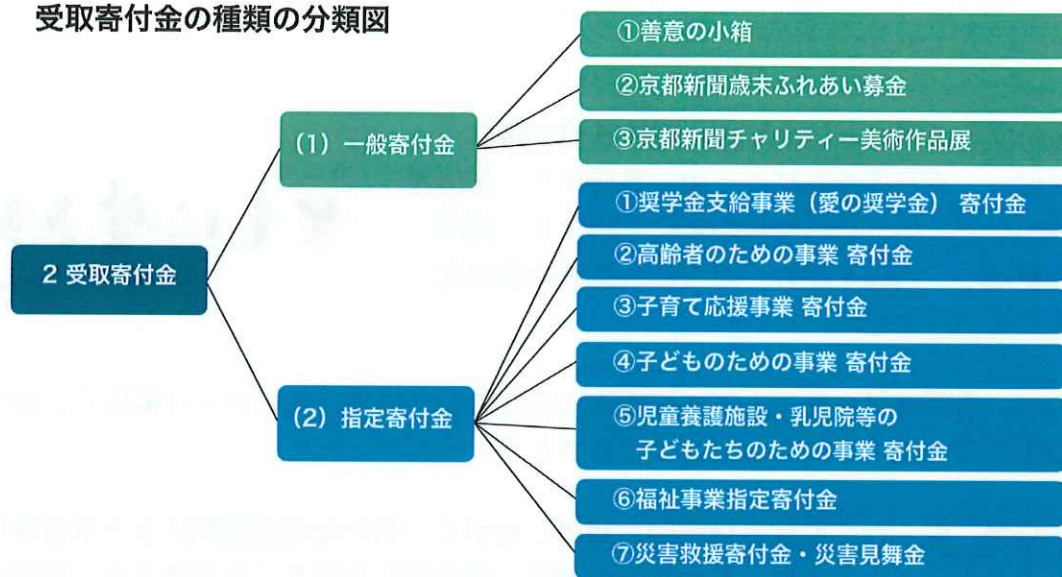
(単位：円)				
	2025年度決算	2025年度予算	増減額	執行率
経常収益	253,194,227	256,491,700	-3,297,473	98.7%
経常費用	253,194,227	256,491,700	-3,297,473	98.7%
経常増減	0	0	—	—

7. 受取寄付金について

事業団の福祉活動は、個人や団体および企業の皆さまからのご寄付によって支えられています。地域社会から寄せられる期待に応え、事業を着実に遂行していくためには、安定的な寄付金収入の確保が極めて重要な基盤となっています。

寄付金には、(1) 用途を限定しない「一般寄付金」と、(2) 寄付者が特定の事業または用途を指定する「指定寄付金」の2種類に区分されます。

受取寄付金の種類の分類図



2025年度の受取寄付金総額は、2億1,834万1,839円（前年度2億27万1,645円）となり、前年度比109.0%、1,807万194円の増加となりました。予算（2億1,553万円）に対する執行率は101.3%でした。

なお、災害救援金を除いた寄付金総額は2億1,479万6,960円（前年度1億7,101万9,601円）となり、前年度比125.6%、4,377万7,359円の増加となりました。これは、高額寄付の受け入れが順調に推移したことによるものであり、前年度を大きく上回る結果となりました。予算執行率は101.1%となりました。

(単位：円)

(単位：円)

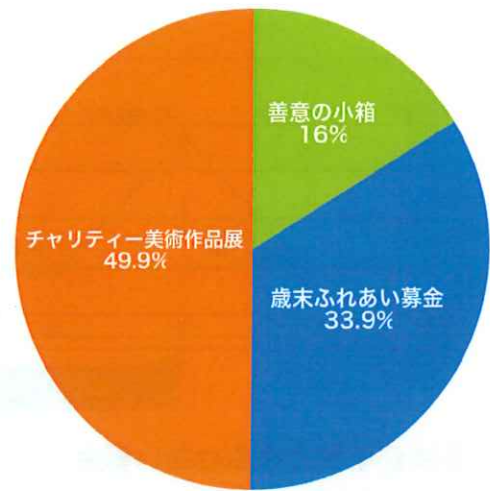
表
15

受取寄付金	当年度	前年度	増減額	増減率	予算	増減額	執行率
一般寄付金	82,100,001	85,503,164	-3,403,163	96.0%	86,050,000	-3,949,999	95.4%
指定寄付金(救援金含む)	136,241,838	114,768,481	21,473,357	118.7%	129,480,000	6,761,838	105.2%
総 額	218,341,839	200,271,645	18,070,194	109.0%	215,530,000	2,811,839	101.3%
総 額 (救援金除く)	214,796,960	171,019,601	43,777,359	125.6%	212,530,000	2,266,960	101.1%

（１）一般寄付金について

一般寄付金は、「善意の小箱」「京都新聞歳末ふれあい募金」「京都新聞チャリティー美術作品展」の3事業で構成され、いずれも金額規模が大きく、当事業団の公益事業を支える基盤的財源となっています。

2025年度の一般寄付金収入は合計8,210万1円（前年度8,550万3,164円）となり、前年度比96.0%、340万3,163円の減少となりました。予算（8,605万円）に対する執行率は95.4%でした。



(単位：円)					(単位：円)		
(１) 一般寄付金	当年度	前年度	増減額	増減率	予算	増減額	執行率
①善意の小箱 ※当年度は京都新聞HDからの105万円を含む	13,262,738	19,059,392	-5,796,654	69.6%	16,050,000	-2,787,262	82.6%
②歳末ふれあい募金	27,854,543	27,043,272	811,271	103.0%	29,000,000	-1,145,457	96.1%
③チャリティー美術作品展	40,982,720	39,400,500	1,582,220	104.0%	41,000,000	-17,280	100.0%
合 計	82,100,001	85,503,164	-3,403,163	96.0%	86,050,000	-3,949,999	95.4%

表
16

①善意の小箱

善意の小箱は、事業団発足以前の1963年から継続する「草の根」の寄付活動であり、地域の皆さまを中心とした幅広い層からの継続的な支援により成り立っております。

当年度は、京都新聞ホールディングスからの105万円を含め、203件、1,326万2,738円（前年度193件、1,905万9,392円）となりました。前年度と比較して件数は増加したものの、寄付額は579万6,654円の減少（前年度比69.6%）となりました。なお、予算額1,605万円に対する執行率は82.6%でした。

減少の主な要因としては、個人寄付における寄付者の高齢化や物価高騰の影響により、一件当たりの寄付額が縮小傾向にあることに加え、前年度においては一時的に高額寄付が複数あったことが挙げられます。具体的には、ダイマルヤ森田会長からの500万円の寄付（障害者支援）、京都中央信用金庫による「中信チャリティーオープンゴルフ」第50回記念として300万円の寄付（当年度は200万円）、ならびに下京区在住の男性から82歳の誕生日を機に82万円の寄付を受領するなど、例年を上回る寄付がありました。

なお、当年度においてもダイマルヤ森田会長より300万円の寄付を受領していますが、当該寄付は用途指定に基づき「協賛・高齢者事業」として計上しています。

以上のことから、善意の小箱は件数ベースでは裾野の広がりが見られる一方で、金額面では高額寄付の影響を受けやすい構造にあり、今後は継続寄付の維持とともに、寄付単価の向上に向けた取り組みが課題となります。



②京都新聞歳末ふれあい募金

年末恒例の「京都新聞歳末ふれあい募金」は、11月27日（木）から12月26日（金）まで受け付けを行い、1,306件、2,785万4,543円（前年度1,381件、2,704万3,272円）のご寄付をいただきました。前年度比では、件数は75件減少したものの、金額は81万1,271円の増、103%となり、予算（2,900万円）に対する執行率は96.1%でした。

このように、件数は減少した一方で寄付総額は増加しており、一件当たりの寄付額は一定水準を維持しているものの、寄付者数の減少傾向が見られます。



当年度も、前年の寄付者に対してダイレクトメールを送付し、継続的な寄付を呼びかけましたが、物価高騰や寄付者の高齢化等の影響により、新規寄付者の獲得や裾野の拡大には引き続き課題があると考えられます。

また、電子決済による寄付は10件、6万6,800円にとどまっており、利便性向上に向けた取り組みのさらなる強化が必要です。

今後は、紙媒体とデジタル媒体を効果的に組み合わせた情報発信を推進するとともに、電子決済など多様な寄付手段の拡充を図り、幅広い世代からの参加と継続的な支援につなげてまいります。

なお、当年度も京都新聞販売所には募金チラシの新聞折り込み、寄付金受け付けにご協力をいただいたほか、京都銀行、京都中央信用金庫、京都信用金庫には振り込み手数料の免除にご協力をいただきました。

③京都新聞チャリティー美術作品展

「第43回京都新聞チャリティー美術作品展」を、12月17日（水）から22日（月）までの6日間、京都高島屋S.C.（百貨店）7階グランドホール



(下京区)において開催しました。

京都、滋賀を中心に、全国の洋画家、日本画家、陶芸家、工芸家、彫刻家、宗教家、文化人ら801人（前年度861人）からご賛同をいただき、937点（前年度1,034点）の作品をご寄贈いただきました。

当年度は、最低入札価格を従来の1万3,000円から1万5,000円へ改定し、作品価格の適正化と収益性の向上を図りました。

また、昨年度に引き続き若手作家の新規参加促進に取り組み、特別展示コーナーを設置するなど、新たな来場者層の開拓にも努めました。

会期中は天候にも恵まれ、来場者数は4,853人（前年度4,630人、前年度比104.8%）と223人増加しました。一方で、入札件数は2,922票（前年度2,970票、前年度比98.4%）と微減、落札点数は803点（前年度835点）、落札者数は430人（前年度440人）となりました。落札平均価格は、4万9,091円（前年度4万5,275円）と上昇しており、最低入札価格の改定の効果が現れたものと考えられます。

また、落札作品引き渡し時には、過年度の未入札作品を対象とした「お求め会」も開催し、こちらを含む落札総額は4,098万2,720円（前年度3,940万500円、前年度比104.0%、158万2,220円増）となりました。予算（4,100万円）に対する執行率はほぼ100%でした。



一方、開催経費は、事務所移転に伴う作品管理・配送費の増加や、物価高騰による画材・額装・梱包資材・配送料などの上昇により、1,950万8,043円（前年度1,885万8,885円）となりました。この結果、落札総額から経費を差し引いた福祉充当額は2,147万4,677円（前年度2,054万1,615円、前年度比104.5%、93万3,062円増）となり、収益面においても前年度を上回る成果を確保しました。

(単位：円)

(単位：円)

チャリティー美術作品展	当年度	前年度	増減額	増減率	予算	増減額	執行率
落札総額 ①	40,982,720	39,400,500	1,582,220	104.0%	41,000,000	-17,280	100.0%
開催経費 ②	19,508,043	18,858,885	649,158	103.4%	23,480,000	-3,971,957	83.1%
福祉充当額 ①－②	21,474,677	20,541,615	933,062	104.5%	17,520,000	3,954,677	122.6%

(2) 指定寄付金について

寄付者が用途を指定する「指定寄付金」として、現在6種の寄付金を受け付けています。また、これとは別に、今年度は「災害救援金」5件を受け付けました。

災害救援金を含めた指定寄付金の総額は、1億3,624万1,838円（前年度1億1,476万8,481円）で、前年度比118.7%、2,147万3,357円の増加。予算（1億2,948万円）に対する執行率は105.2%でした。一方、災害救援金を除いた総額は、1億3,269万6,959円（前年度8,551万6437円）で、前年度比155.2%、4,718万522円の増加となり、個人および企業からのまとまった寄付を多数いただき、前年を大きく上回りました。予算（1億2,648万円）に対する執行率は104.9%となりました。

表

(2) 指定寄付金	(単位：円)				(単位：円)		
	当年度	前年度	増減額	増減率	予算	増減額	執行率
① 奨学金支給事業寄付金	20,611,610	31,133,110	-10,521,500	66.2%	19,000,000	1,611,610	108.5%
誕生日コーナー	4,610,031	4,715,623	-105,592	97.8%	5,500,000	-889,969	83.8%
協賛・愛の奨学金	5,445,173	16,167,897	-10,722,724	33.7%	3,200,000	2,245,173	170.2%
協賛・愛の奨学金（左京区 女性）	10,000,000	10,000,000	0	100.0%	10,000,000	0	100.0%
協賛・愛の奨学金(交通遺児)	556,406	249,590	306,816	222.9%	300,000	256,406	185.5%
② 高齢者のための事業寄付金	4,526,000	1,868,000	2,658,000	242.3%	4,900,000	-374,000	92.4%
記念日コーナー	1,136,000	1,488,000	-352,000	76.3%	1,540,000	-404,000	73.8%
協賛・高齢者事業	390,000	380,000	10,000	102.6%	360,000	30,000	108.3%
協賛・高齢者事業 （ダイマルヤ森田会長）	3,000,000	0	3,000,000	—	3,000,000		
③ 子育て応援事業寄付金	1,322,529	1,170,000	152,529	113.0%	1,180,000	142,529	112.1%
④ 子どものための事業寄付金	110,000	30,327	79,673	362.7%	0	110,000	—
⑤ 児童養護施設・乳児院等の子ども たちのための事業寄付金	2,476,820	1,315,000	1,161,820	188.4%	1,400,000	1,076,820	176.9%
⑥ 福祉事業指定寄付金	103,650,000	50,000,000	53,650,000	103.7%	100,000,000	3,650,000	103.7%
小 計	132,696,959	85,516,437	47,180,522	155.2%	126,480,000	6,216,959	104.9%
⑦ ア. 能登半島地震救援金	1,444,813	18,888,307	-17,443,494	7.6%	3,000,000	544,879	118.2%
イ. 能登豪雨災害救援金	146,000	3,882,297	-3,736,297	3.8%			
ウ. 九州豪雨災害救援金	241,979	0	241,979	—			
エ. 大船渡市林野火災救援金	204,087	5,462,839	-5,258,752	3.7%			
オ. ミャンマー地震救援金	1,508,000	0	1,508,000	—			
カ. 台湾東部沖地震救援金	0	1,018,601	-1,018,601	—			
小 計	3,544,879	29,252,044	-25,707,165	12.1%			
合 計	136,241,838	114,768,481	21,473,357	118.7%	129,480,000	6,761,838	105.2%

①奨学金支給事業寄付金

「京都新聞愛の奨学金」に充てられる寄付金の一つとして、「誕生日おめでとう」コーナーがあります。本取り組みは、誕生日を迎える方に、年齢に100円を乗じた金額（20歳未満は一律2,000円）をご寄付いただき、誕生日当日に氏名等を京都新聞紙面に掲載するものです。

当年度は686件、461万31円（前年度709件、471万5,623円）となり、件数は前年度比23件減、寄付額は10万5,592円減（前年度比97.8%）と、減衰傾向が続いています。

こうした状況から、新規寄付者の獲得及び継続参加の促進が課題となっています。今後は、ホームページを活用した広報の強化に加え、主催事業でのリーフレット配布や企業・団体への周知依頼等を通じて、幅広い年齢層への寄付促進に取り組めます。



また、「協賛・愛の奨学金」については、一般分36件、1,544万5,173円（前年度30件、2,616万7,897円）、交通遺児分4件、55万6,406円（前年度3件、24万9,590円）の寄付をいただき、合計1,600万1,579円のご寄付を受領いたしました。

一般分においては、当年度は4月に左京区在住の女性から1,000万円、9月に城陽市在住の男性から100万円、3月に上京区在住の男性から300万円の寄付を受領しています。

一方、前年度は4月の1,000万円（左京区・女性）に加え、5月に山科区在住の男性より500万円、2月に城陽市在住の男性から1,000万円といった高額寄付が複数重なっており、例年を大きく上回る水準となっていました。

このため、当年度の実績は減少しているものの、前年度における一時的な高額寄付の影響によるものであり、基調としては一定水準を維持しているものと認識しています。



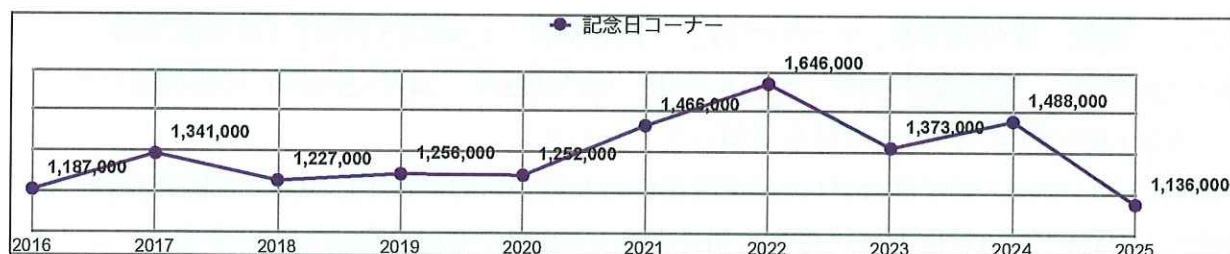
交通遺児分については、「交通遺児のために」として継続的に寄付をいただいているJU京都青年部会（京都府中古自動車販売協会）による「チャリティーオークション」募金30万円、京都ヴィンテージカークラブのオークション収益5万1,706円に加え、当年度はヤマトホールディングス主催「音楽宅急便クロネコファミリーコンサート」における会場募金および同社からの寄付を合わせた20万円、ならびに個人寄付1件を受領しました。

以上の結果、「誕生日おめでとう」コーナー分を含めた寄付総額は2,061万1,610円（前年度3,113万3,110円）となり、前年度比66.2%、1,052万1,500円の減少となりました。予算（1,900万円）に対する執行率は108.5%となっています。

②高齢者のための事業寄付金

「高齢者のための事業」に充てられる寄付金の一つとして、「記念日おめでとう」があります。本取り組みは、企業・団体の創立・設立周年数に1,000円を乗じた金額をご寄付いただき、企業・団体名と周年数等を京都新聞紙面に掲載するものです。

当年度は21件、113万6,000円（前年度26件、148万8,000円）の寄付を受領し、前年度比76.3%、35万2,000円の減少となりました。



また、「協賛・高齢者事業」としては、中京区のうなぎ店より「車いす贈呈事業」を指定した月額3万円の継続寄付を受領しているほか、9月には株式会社ダイマルヤ森田会長より「高齢者のために」として300万円の寄付を受領しました。これにより、合計14件、339万円（前年度13件、38万円）となり、前年度比892.1%、301万円の増加となりました。

「記念日」と「協賛」を合わせた総額は452万6,000円（前年度186万8,000円）となり、前年度比242.3%、265万8,000円の増加となりました。なお、予算（490万円）に対する執行率は92.4%となりました。

③子育て応援事業寄付金

子育てグループや支援団体に助成する「子育て仲間を応援」および子育て催事・事業を支援する「子育て事業助成」に充当する指定寄付金です。

当年度は、中京区の手電子部品メーカーの実質創業



者の生誕118年を記念し、遺族から118万円の寄付を受領しました（前年度は117年で117万円）。

加えて、中野こども医院（中京区）より「診察や検査を頑張ったお子さんの気持ちを形にして、未来を応援したい」として、10万円のご寄付を賜りました（同医院からは、このほか「子どもたちのための事業寄付金」「奨学金支給事業寄付金」にも、それぞれ10万円のご寄付をいただいております）。また、この他2件の寄付があり、合計132万2,529円（前年度117万円）、前年度比113%、15万2,529円増となりました。なお、予算（118万円）に対する執行率は112.1%でした。

④子どものための事業寄付金

「京都新聞お楽しみ子どもシアター」など、子どもを対象とした事業に充当する指定寄付金です。

当年度は、中野こども医院より10万円、加えて個人からの寄付が1件あり、合計11万円（前年度3万327円）が寄せられました。

⑤児童養護施設・乳児院等の子どもたちのための事業寄付金

「児童養護施設レクリエーション」「児童養護施設高校生への奨学激励金」「児童養護施設卒業お祝い金」に充当する指定寄付金です。

当年度は、毎年継続してご寄付をいただいている京都ゴルフ倶楽部（北区）によるチャリティーゴルフ大会の募金100万5,000円、「藤田めぐみ父の日コンサート」実行委員会からの30万円に加え、ライオンズクラブ国際協会によるチャリティーゴルフコンペの収益17万1,820円、上京区在住の匿名希望の男性から100万円の寄付を受領しました。

この結果、合計247万6,820円（前年度131万5,000円）となり、前年度比188.4%、116万1,820円増となりました。なお、予算（140万円）に対する執行率は176.9%でした。

⑥福祉事業指定寄付金

寄付者のご意向により具体的な事業や用途が指定される寄付のうち、「特定寄付金①～⑤」に該当しないものに対応するため、「福祉事業指定寄付金」を新たに設けました。

当年度は、オーシャン貿易株式会社 創業者・取締役会長の米田多智夫様より個人として、昨年4月に「オーシャン号0号車贈呈」のための365万円、10月に「子どもたちのために役立ててほしい」とのご意向のもと、1億円のご寄付を賜りました。

1億円の使途は「京都新聞オーシャンスマイルこども未来プロジェクト」事業とし、うち7,542万6,103円を指定正味財産として計上のうえ当年度事業に充当しました。残る2,457万3,897円については「米田多智夫基金資産」に繰り入れ、特定資産（基金）として区分管理し、次年度へ繰り越した同プロジェクト事業の原資として活用します。

このように、寄付者の明確なご意向に基づく寄付については、その趣旨を最大限に尊重しつつ、事業計画および財務管理の両面において適切に反映し、継続的かつ効果的な活用を図ってまいります。

⑦災害救援寄付金

地震や台風などの自然災害発生時に、被災者支援を目的として救援金を募集しています。当年度は、以下5件の救援金の受付を行い、合計354万4,879円の寄付をいただきました。前年度比12.1%、2,570万7,165円の減少となりました。

前年度に受領し、災害救援金基金に繰り越した656万9,384円と合わせて、合計1,011万4,263円を各被災地へお届けしました。

2025年度 災害救援金について (単位：円)

表 19	名称	2025年度受取総額 (2025.4.1～2026.3.31)		通期累計金額	
		件数	金 額	件数	金 額
	ア.能登半島地震救援金	28	1,444,813	906	205,811,207
	イ.能登豪雨災害救援金	5	146,000	137	4,028,297
	ウ.九州豪雨災害救援金	19	241,979	19	241,979
	エ.大船渡市林野火災救援金	15	204,087	54	5,666,926
	オ.ミャンマー地震救援金	26	1,508,000	26	1,508,000
	当年度受入額 合計		3,544,879	1,142	217,256,409

災害救援金基金資産 (2024年度繰り越し分)	ア.能登半島地震救援金	1,021,650
	イ.能登豪雨災害救援金	84,895
	エ.大船渡市林野火災救援金	5,462,839
	合 計	6,569,384

当年度送金原資 合計 当年度受入額＋前年度繰越（基金）	10,114,263
--------------------------------	------------

ア.能登半島地震救援金

石川県能登地方を震源とする地震により甚大な被害が発生したことを受け、被災者救援のため2024年1月5日（金）より受け付けを開始し、6度の延長を経て、2025年12月26日（金）まで募集しました。

当年度分〔2025年4月1日（火）～12月26日（金）〕は累計28件、144万4,813円となりました。石川・新潟・富山・福井の災害義援金配分委員会を通じて、被災者にお



2025年2月5日（水）石川県輪島市

届けしました。

イ. 能登豪雨災害救援金

石川県能登地方における豪雨災害により甚大な被害が発生したことを受け、被災者救援のため2024年9月25日（水）より受け付けを開始し、3度の延長を経て、2025年12月26日（金）まで募集しました。

当年度分〔2025年4月1日（火）～12月26日（金）〕は累計5件、14万6,000円となりました。石川県災害義援金配分委員会を通じて被災者にお届けしました。

ウ. 九州豪雨災害救援金

九州地方における豪雨災害により甚大な被害が発生したことを受け、被災者救援のため2025年8月22日（金）から12月26日（金）まで受け付けを行い、累計19件、24万1,979円が寄せられました。

救援金は、熊本県および鹿児島県の災害義援金配分委員会を通じて、被災者にお届けしました。

エ. 大船渡市林野火災救援金

岩手県大船渡市で発生した林野火災により甚大な被害が発生したことを受け、被災者救援のため2025年3月9日（日）から6月30日（月）まで受け付けを行いました。

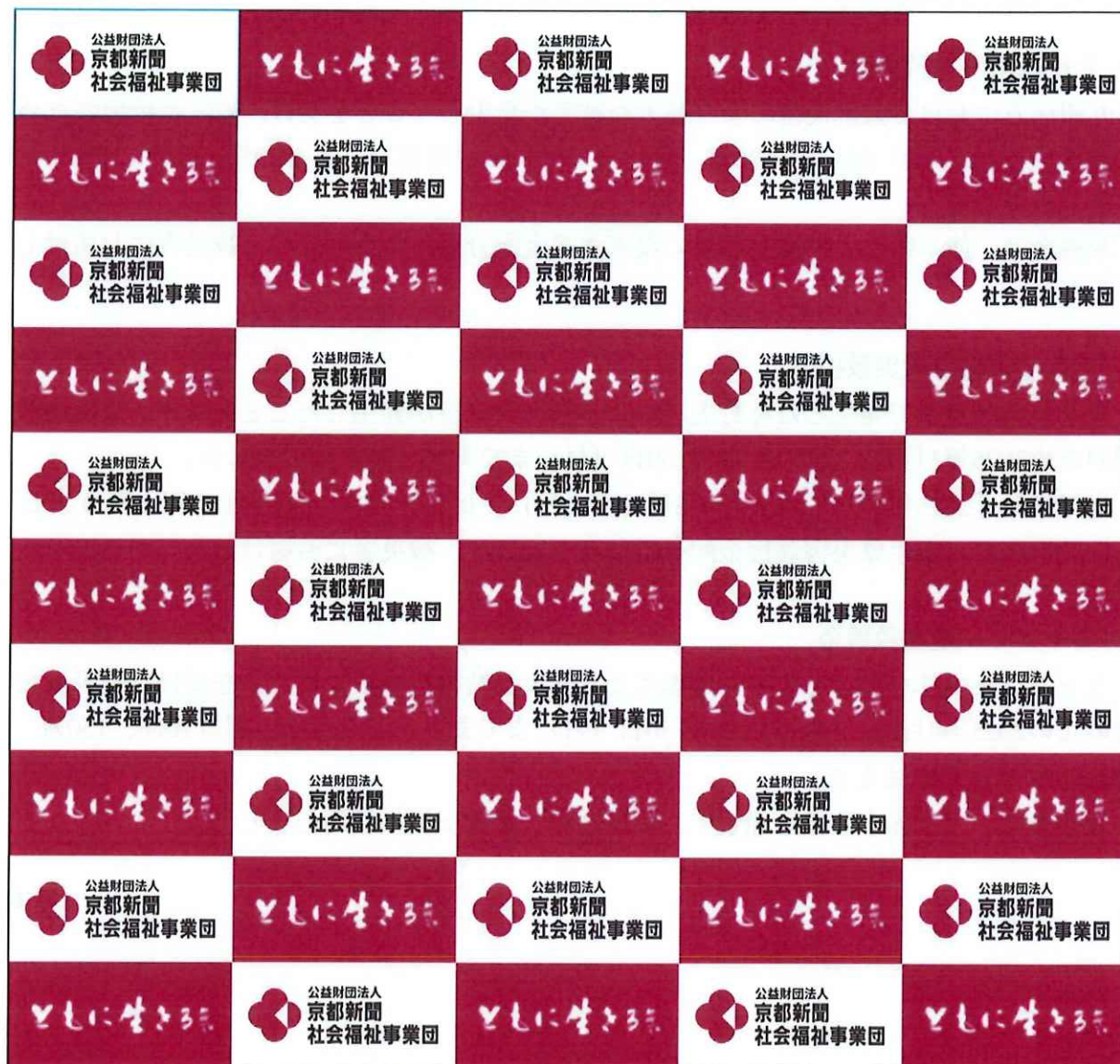
当年度分〔2025年4月1日（火）～6月30日（月）〕は累計14件、20万4,087円となりました。救援金は、岩手県災害義援金配分委員会を通じて、被災者にお届けしました。

オ. ミャンマー地震救援金

ミャンマー中部を震源とする大地震により甚大な被害が発生したことを受け、被災者救援のため2025年4月2日（水）から6月30日（月）まで受け付けを行い、累計26件、150万8,000円が寄せられました。

救援金は、日本赤十字社を通じて、救援活動、復興支援に活用しました。

以上



2025年度 実施事業

1 障害のある人のための事業

障害のある人が社会の一員として自立し、豊かな生活を送るためには、就労支援や文化・スポーツ活動の機会の充実が重要です。

事業団では、社会参加の促進と生活の質の向上を図るため、就労支援、体験活動、スポーツ、芸術文化の各分野において多様な事業を展開しました。

(1) 障害のある人の自立支援

①シンポジウム「障害のある人の就労支援」

(2026年2月15日、京都府立総合社会福祉会館ハートピア京都／京都市中京区)



京都市内の企業関係者や福祉・教育関係者らで構成する京都市障がい者就労支援ネットワーク会議（C o C o ネット）の協力のもと、2月15日（日）にシンポジウムを開催し、約80人が参加しました。1部では、障害のある人の実習受入れに積極的に取り組むクリーンスペース株式会社の橋本味永子社長と同社で働く障害のある当事者4人が登壇し、長期就労のための障害特性の理解や職場環境の整備の重要性について講演いただきました。第2部では、京都中小企業家同友会理事で、知的障害のある双子の高校生の父親でもある芳賀久和氏が、「障害のある人の“働きたい”を支えるネットワーク～企業と地域の連携～」と題して講演し、就労支援ネットワークの活動実績を紹介するとともに、中小企業における個性の高いマッチングの可能性について紹介しました。グループ交流会では、参加者がグループに分かれて意見交換を行い、就労に対する課題や思いを共有しました。



＝事業費16万7,746円、執行率53.4％／予算31万4,000円

② 京都新聞おでかけ公演・障害者団体

(2026年2月27日、社会福祉法人白蓮「もりやま作業所」・守山市／3月12日、社会福祉法人あらぐさ福祉会「障害福祉センターあらぐさ」・長岡京市)



障害のある人が利用する福祉施設や作業所、団体等を訪問し、日ごろ外出が難しい人たちに音楽公演等を届ける「おでかけ公演」を実施しました。

公演は、NPO法人京都フィルハーモニー室内合奏団のメンバー2人によるデュオ形式で行い、クラシック音楽や歌謡曲など約10曲に加え、



トークを交えた内容としました。2月27日（金）に「もりやま作業所」、3月12日（木）に「障害福祉センターあらぐさ」の計2団体で実施しました。

＝事業費17万6,293円、執行率88.1％／予算20万円

③ 障害のある人の工賃増へ向けての取り組み助成（2025年度から休止）



障害のある人の自立支援を目的として、2009年度から2024年度まで、工賃（賃金）向上に取り組む障害者支援事業所への助成を実施してきました。

本助成については、支援手法の見直しに伴い当年度から休止し、従来の助成に代えて、障害者支援事業所の販路拡大および工賃向上を支援する新たな取り組みとして、下記④「京都新聞福祉事業所フェスティバル」を開催しました。

＝事業費0円、執行率0％／予算0円

④ 京都新聞福祉事業所フェスティバル

（10月4日・5日、上賀茂神社境内／京都市北区）



京都府内をはじめ全国の障害者就労支援事業所で生産・製造された商品を展示・販売し、工賃向上および販路拡大を図るとともに、障害のある人の社会参加の促進を目的として実施しました。本事業は、京都社会就労センター、日本ヘルプセンター等と共催により、世界遺産・上賀茂神社境内において、10月4日（土）、5日（日）の2日間にわたり「全国ナイスハートバザール2025 in 京都 京都新聞福祉事業所フェスティバル」として開催しました。当日は、全国の福祉事業所68カ所から約7,000点の出品があり、2日間とも雨天となりましたが、多くの来場者が訪れ、各ブースで交流や販売が行われました。



＝事業費80万287円、執行率78.5％／予算102万円

（2）みんなで海釣りー障害のある人の体験講座

（9月13～14日、京都府立海洋高等学校、府立青少年海洋センター マリーンピア／宮津市）



障害のある人が宮津市の日本海で海釣りを体験し、交流を深める1泊2日のレクリエーション講座として、9月13日（土）から14日（日）に神戸新聞厚生事業団との共催で実施しました。

当日は、京都府・滋賀県から37人、兵庫県からは19人、計56人の障害のある人と介助者を招待しました。

また、京都府磯釣連合会、日本釣振興会、宮津市社会福祉協議会の関係者、京都府立海洋高等学校の教職員・生徒など、計114人がボランティアスタッフとして参加しました。初日は宿泊先である海洋センターにおいて、海洋高校生による講座「〇〇の不思議」や、釣りインストラクターらによる釣り方や救命具の着用方法の



講習を実施しました。2日目は府立海洋高校の桟橋において海釣り体験を行いました。

なお、本事業は1999年の第2回から神戸新聞厚生事業団との共催により実施してきましたが、同事業団の事業見直しに伴い、次年度からは当事業団の単独主催として実施する予定です。＝事業費123万6,516円、執行率84.7%／予算146万円

（3）第45回全京都障害者総合スポーツ大会

（6～10月、京都市障害者スポーツセンターなど府内各地）

京都障害者スポーツ振興会、京都府、京都市、両府市の身体障害者団体連合会、京都手をつなぐ育成会等との共催事業により実施しました。本大会は、1981年の「国際障害者年」を契機に開始し、現在では障害のある人のための総合的なスポーツ大会として定着しています。

6月22日（日）の総合開会式・卓球バレー競技を皮切りに、府内各地で7競技大会を実施し、延べ1,184人の選手が参加しました。

各競技大会の日程は以下の通りです。

ボッチャ＝6月29日（日）▽卓球＝7月20日（日）▽水泳＝8月17日（日）▽アーチェリー＝9月14日（日）▽陸上競技＝9月21日（日）▽フライングディスク＝10月13日（月・祝）。

＝事業費85万円（支払分担金85万円）、執行率99.8%／予算85万2,000円



（4）第41回全京都車いす駅伝競走大会・第35回全京都車いすミニ駅伝競走大会

（当年度中止）

丹波路を駆ける「車いす駅伝」と、重度障害のある人らを対象とした「車いすミニ駅伝」について、9月7日（日）京都府立丹波自然運動公園陸上競技場（京都府京丹波町）での開催に向けて準備を進めていました。

しかしながら、運営協力団体である南丹市陸上競技協会の主催大会と日程が重複したため、同協会からの代替日提案を踏まえ、共催団体である京都府身体障害者団体連合会および京都障害者スポーツ振興会と再調整を行いました。その結果、他行事との兼ね合いにより日程の確保が困難であると判断し、当年度の開催は見合わせることにしました。

＝事業費0円、執行率0%／予算75万円



（5）天皇盃 第37回全国車いす駅伝競走大会

（2026年3月8日、国立京都国際会館前・京都市左京区一たびしスタジアム京都・右京区）

京都府、京都市、日本パラスポーツ協会、京都新聞等との共催事業により、全国の都府県から19チーム（前回18チーム）が参加しました。



大会前日の3月7日（土）には、ザ・プリンス京都宝ヶ池において、選手および大会役員らが出席し、開会式と交歓会を実施しました。大会当日の3月8日（日）は、国立京都国際会館前をスタートし、たけびしスタジアム京都（西京極総合運動公園陸上競技場）をフィニッシュとする5区間21.3kmのコースで実施され、各チームが熱戦を繰り広げました。
＝事業費50万1,440円（支払分担金50万円）、執行率98.3％／予算51万円

（6）第45回京都ゆとりスポーツの集い

（10月10日、京都市障害者スポーツセンター／京都市左京区）



京都府内の精神病院やクリニックで構成する実行委員会により、治療や社会復帰に向けた生活訓練を受ける精神障害のある人を対象としたスポーツ大会として、当年度は10月10日（金）に開催しました。

前年度まではソフトボール大会として実施していましたが、参加者のニーズに対応するため、当年度から内容を見直し、バドミントン、卓球、モルック、スクエアポッチャの4種目を実施しました。当日は、7施設から約120人が参加し、各競技において活発なプレーが展開されるなど、会場は盛況となりました。

＝事業費11万130円（支払分担金11万円）、執行率72.5％／予算15万2,000円



（7）障害者スポーツ事業共催

障害者スポーツの振興を目的として、関係団体との共催により以下の大会を実施しました。＝①～③事業費30万260円、執行率99.1％／予算30万3,000円

①第19回京都障害者施設卓球バレー大会兼全国交流大会

（5月11日、京都市障害者教養文化・体育会館／京都市南区）



京都卓球バレー協会との共催により、スポーツを通じた障害者福祉の向上を目的として、当年度は、5月11日（日）に開催しました。京都市や南丹市から10チーム、滋賀・兵庫・香川・鳥取県の各府県から4チームが参加し、計14チーム109人の選手が交流を深めました。



＝事業費10万円（支払分担金10万円）、執行率99.0％／予算10万1,000円

②第33回パラアーティスティックスイミングフェスティバル

（10月5日、京都市障害者スポーツセンター／京都市左京区）



日本パラアーティスティックスイミング協会、京都市障害者スポーツ協会等との共催により、障害の有無や年齢を問わず参加できる水泳大会として、10月5日（日）に開催しました。京都をはじめ宮城・東京・石川・愛知・兵庫など8都府

県から約110人が参加し、13団体が28演技（ソロ、デュエット、チームI・II、フリーコンビネーションの5種目）を披露しました。

＝事業費10万260円（支払分担金10万円）、執行率99.3％／予算10万1,000円



③第27回ボッチャ大会

（2026年1月17・18日、京都市障害者スポーツセンター／京都市左京区）

京都市障害者スポーツセンター等との共催により、障害のある人の体力の維持、増進および交流促進を目的として、当年度は1月17日（土）と18日（日）に開催しました。10代から80代までの障害のある人や特別支援学校の生徒ら41人が参加し、ペア戦、全国障害者スポーツ大会ルール部門、個人戦に分かれて競技を行いました。なお、介護者やボランティア約40人が運営を支援しました。

＝事業費10万円（支払分担金10万円）、執行率99.0％／予算10万1000円



（8）京都とおきの芸術祭

（12月12～14日、日図デザイン博物館／京都市左京区）

障害のある人の芸術文化活動の可能性を広げ、社会参加の促進を図ることを目的として、京都府、京都市、京都府身体障害者団体連合会等との実行委員会により、12月12日（金）～14日（日）に開催しました。当年度は、公募により寄せられた絵画、陶芸、写真、書、俳句、川柳、工芸の7部門において、788作品（前年度762作品）を展示しました。

あわせて、さをり織り体験のワークショップや「障害者週間」啓発ポスターコンクール作品の展示なども実施しました。来場者は2,376人（同2,293人）となりました。＝事業費20万円（支払分担金20万円）、執行率99.5％／予算20万1,000円



（9）第21回京都手話フェスティバル

（2026年3月21日、京都府立総合社会福祉会館ハートピア京都／京都市中京区）

手話の普及と発展を目的として、京都府聴覚障害者協会との共催により開催しました。当初は2月8日（日）を予定していましたが、降雪の影響により延期し、3月21日（土）に実施しました。



当年度は、従来の「一般の部」と「高校生の部」を統合し、「一般の部」には7人と2グループ（5人）、「子どもの部」には過去最多となる13人が出場しました。

当日は、出場者が手話によるスピーチを披露し、会場内で交流が深まりました。また、アトラクションとして、劇団「あしたの会」の蒲原敏光氏による手話を用いたパフォーマンスを実施しました。



審査の結果、最優秀賞には、デフバスケへの挑戦を通じてコミュニケーションの重要性を訴えた西村知紗氏が選ばれました。このほか、優秀賞、京都新聞社会福祉事業団賞、敢闘賞を授与するとともに、「子どもの部」出場者全員に参加賞を贈呈しました。

なお、本事業の実施にあたり、今年度も林丘寺の天野弘堂様よりご支援を賜りました。
＝事業費20万5,630円（支払分担金20万円）、執行率101.3％／予算20万3,000円

（10）滋賀県知的ハンディをもつ人の文化の集い

（11月28日、守山市民ホール／守山市）



滋賀県内の知的障害のある人が利用する施設の文化活動の一環として、音楽や演劇の鑑賞機会を提供することを目的に、滋賀県知的ハンディをもつ人の福祉協会の主催、事業団および滋賀県知的障害児者生活サポート協会との共催により、11月28日（金）に実施しました。



当日は、滋賀県草津市を拠点に活動をする劇団ミュージカルパークによる「西遊記・新物語ミュージカルあやかし町」の上演と「ワークショップみんなで歌おう」を実施し、14施設から277人が参加しました。＝事業費25万1,100円、執行率98.5％／予算25万5,000円

（11）京都新聞夏季キャンプ・レク活動を応援

（6～9月、助成先69社）



障害のある人の活動の場を広げ、余暇の充実を図るため、障害者団体や支援グループ等が実施する宿泊を伴う夏季のキャンプやレクリエーション活動に対し、助成を行いました（本事業は今回で19回目）。

当年度は、京都府および滋賀県内の7団体（前年度8団体）から申請があり、参加人数や事業規模、過去の助成実績等を踏まえて選考を行い、7団体に対し総額50万円（同50万円）を助成しました。

助成金は、障害のある子どもをもつ家族の交流を目的にした1泊2日の余暇活動や、福祉事業所の利用者が主体となって企画・運営するキャンプなどに活用されました。

＝事業費50万2,650円、執行率98.9％／予算50万8,000円

2 高齢者のための事業

少子高齢化の進展に伴い、高齢者が安心して暮らせる地域社会の実現に向けた支援の重要性が高まっています。事業団では、高齢者の生活の質の向上を図るため、外出機会の創出、介護用車いすの贈呈、在宅福祉支援などの各種事業を実施しました。

(1) 高齢者配食サービス支援（2025年度から休止）

在宅の高齢者支援を目的として、京都府、滋賀県内のボランティアグループや団体に対し、お米を提供し、配食活動を支援してきました。



しかし、コロナ禍以降、申請団体の減少や担い手不足が顕在化し、活動の継続が困難となる団体が増加しています。

こうした状況を踏まえ、従来の支援手法では事業効果の維持が難しいと判断し、当年度から本事業を休止しました。＝事業費0円、執行率0％／予算0円

(2) 京都新聞おでかけ公演・高齢者団体

（2026年3月7日、大山崎町社会福祉協議会「デイサービスなごみの郷」・大山崎町／30日、特別養護老人ホーム「そせい苑」・京都市伏見区）

京都府、滋賀県内の高齢者施設や高齢者団体を訪問し、日ごろ外出が難しい人たちに音楽公演等を届ける「おでかけ公演」を実施しました。



公演は、NPO法人京都フィルハーモニー室内合奏団のメンバー2人によるデュオ形式で行い、クラシック音楽や歌謡曲など約10曲に加え、トークを交えた内容としました。3月7日（土）にデイサービスなごみの郷と、30日（月）にそせい苑の計2団体で実施しました。

＝事業費17万4,948円、執行率87.5％／予算20万円



(3) 高齢者へのプレゼント（2026年2月、助成先69ヶ所）

特別養護老人ホームにおける介助用車いすの不足に対応するため、2008年度から、京都府および滋賀県内の全施設への贈呈を目標として事業を実施しています。当年度は、施設の開設年次や地域性等を考慮し、京都府1、京都市3、滋賀県3の計7施設を対象に案内しました。車いすは、背もたれと座面の角度調整が可能なティルト・リクライニング介助型と、ベッドからの移乗に配慮した多機能介助型のいずれかを選択できる方式としています。その結果、各施設の希望に基づき、ティルト・リクライニング介助型の車いす7台を贈呈しました。これまでの贈呈台数は、当年度分を含め306台となりました。



＝事業費61万8,240円、執行率98.6％／予算62万7,000円



(4) 在宅高齢者福祉サービス支援

ホームヘルプサービス活動に関する備品助成 (12月、助成先70～71㉮)



在宅高齢者の経済的負担の軽減や福祉サービスの充実を目的として、ホームヘルプサービスを実施する非営利団体や事業所に対し、福祉用具や介護用品の購入費を助成しました。当年度も、感染防止に資する用具・用品も対象に含めて募集を行い、京都府14、京都市1、滋賀県4の計19団体（前年度20団体）に対し、総額137万7,503円（同138万8,406円）を助成しました。助成金は、介護を受ける高齢者が準備しなければならない体温計や血圧計、移乗ボード・シート、マスクや使い捨て手袋などの購入に活用されました。＝事業費138万3,301円、執行率98.8％／予算140万円

3 子どものための事業

子どもたちの健全な成長を支援するため、事業団では、児童養護施設へのレクリエーション支援や卒業祝い金の贈呈、交通遺児への支援、親子で参加できるシアターの開催など、多様な事業を実施しました。これらの取り組みを通じて、子どもたちの生活支援や体験機会の充実を図り、安心して学び、成長できる環境づくりに努めました。

(1) 児童養護施設レクリエーション (9月～2026年3月、助成先71～72㉮)



京都府、滋賀県内の児童養護施設におけるレクリエーション活動を支援するため、入所児童・生徒1人当たり2700円および引

率費用として1施設当たり2万円を支給しています

す。当年度は、全17施設を対象に、レクリエーションに参加した子ども570人分と引率費用を合わせ、計187万9,000円を助成しました。各施設からの活動終了報告書によると、居住ユニット単位や年齢別の少人数グループでテーマパークや観光地への外出、施設内でのクリスマス会や餅つきなどに活用されました。なお、本助成の財源には、京都ゴルフ倶楽部が開催するチャリティーゴルフ大会の寄付金のほか、児童養護施設・乳児院等の子どもたちを対象とした事業寄付金および同事業基金資産を充当しています。＝事業費188万3,068円、執行率84.1％／予算224万円



(2) 児童養護施設生徒卒業祝い金 (2026年3月、助成先73㉮)



中学校および高等学校の卒業に際し、京都府、滋賀県の児童養護施設を巣立つ子どもたちを対象に、「卒業祝い金」（中学卒業2万円、高校卒業4万円）を贈呈しています。当年度は、16施設の中学卒業生2人（京都府1、滋賀1）、高校卒業生53人（京都府12、京都市33、滋賀県8）の計55人に対し、総額216万円を贈呈しました。なお、全17施設のう



3月4日（水）平安養育院（東山区）

ち1施設は対象者がいませんでした。児童養護施設の高校生は、卒業と同時に自立を求められるケースが多く、本祝い金は、就職や進学に伴う準備費用や生活必需品の購入費等に活用されています。

＝事業費217万8,414円、執行率86.4％／予算252万2,000円

（3）交通遺児卒業お祝い（2026年3月）

京都府、滋賀県の小学校、中学校、高等学校を卒業した交通遺児を対象に、「卒業お祝い」として図書カードを贈呈しています。贈呈額は、小学生5,000円、中学生7,000円、高校生1万円とし、当年度（第20回）は、京都府4人（小学生0、中学生2、高校生2）、京都市4人（小学生0、中学生3、高校生1）、滋賀県13人（小学生5、中学生3、高校生5）の計21人（前年度27人）に贈呈しました。なお、京都府と京都市については交通遺児奨学金受給者を対象とし、滋賀県については県内の交通遺児が入会する公益財団法人おりづる会を通じて贈呈しました。

＝事業費16万4,480円、執行率99.1％／予算16万6,000円



3月3日（火）おりづる会
（滋賀県大津市）

（4）京都新聞お楽しみ子どもシアター in 京都（2025年度は滋賀開催）

子どもたちの健やかな成長と親子のふれあいの機会の創出を目的として、人形劇やコンサートに一般公募の親子や児童養護施設の子どもたちを招待する事業です。

本事業は、京都府内と滋賀県内で隔年開催としているため、当年度は京都での開催を見送り、滋賀のみで実施しました。なお、次年度は京都府内での開催を予定しています。

（5）京都新聞お楽しみ子どもシアター in 滋賀

（8月24日、守山市民ホール／守山市）

子どもたちの健やかな成長と親子のふれあいの機会の創出を目的として、公益財団法人守山市文化体育振興事業団（守山市民ホール）との共催により開催しました。

当年度は、8月24日（日）に守山市民ホールで「子どもミュージックアドベンチャー」として実施し、一般の親子、福祉施設の子どもたち850人を無料招待しました。

打楽器のリズムと舞踊を組み合わせたパフォーマンスや、音楽と絵本を融合させたコンサートを通じて、参加者の交流と鑑賞機会の充実を図りました。

次年度は京都府内で開催をする予定です。

＝事業費55万440円、執行率98.3％／予算56万円



(6) 京都新聞オーシャンスマイルこども未来プロジェクト

 オーシャン貿易株式会社（京都市中京区）の米田多智夫名誉会長からの個人寄付を原資として、京都府および滋賀県の子どもたちを支援する総合プロジェクトです。児童養護施設の児童を対象とする3事業（①～③）と、ひとり親世帯の子どもたちを対象とする1事業（④）を実施し、多目的な支援を展開しました。

当年度の実施状況は以下の通りです。

①ユニバーサル・スタジオ・ジャパン貸切バスツアー招待事業

3月22日（日）、京都府・滋賀県内の児童養護施設および乳児院の児童545人と職員302人の計847人（内訳75歳）を、施設発着の観光バス26台によりユニバーサル・スタジオ・ジャパン（大阪市此花区）へ招待しました。参加した子どもたちは、アトラクションやパレード等を通じて、貴重な体験の機会に恵まれました。



②オーシャンスマイル号贈呈事業

児童養護施設17施設のうち、希望のあった15施設に対し、非常時の給電供給を備えたハイブリッド車「オーシャンスマイル号（トヨタ・シエンタZグレード7人乗り）」計15台を贈呈する事業です。



当年度は、車両供給状況を踏まえ、3月25日（水）に京都トヨペット七条本店において贈呈式を実施し、先行して10台（贈呈先76歳）を10施設へ贈呈しました。残る5台は、次年度6月に贈呈予定です。

③キッチンカー派遣事業

児童養護施設にキッチンカーを派遣し、児童および職員に温かい食事を提供するとともに、日常とは異なる食体験と交流の機会を創出する事業です。

本事業は、準備期間等を踏まえ、次年度（4月中旬から7月上旬）に実施予定です。

④食事券贈呈事業

2025年12月24日（水）から26日（金）にかけて、京都府・滋賀県内のひとり親家庭支援団体の会員および母子生活支援施設の入所世帯を対象に、くら寿司で利用可能な食事券（1世帯あたり1万円分）を1,833世帯分届けました。

その後、転居先不明等の理由により95世帯分（95万円分）の返却があり、最終的に1,738世帯へ贈呈しました。（贈呈先77歳）



返却分については、寄付者である米田多智夫様と協議のうえ再配分を行い、京都府・滋賀県内の児童養護施設17施設に一律5万円分（計85万円分）を贈呈し、残る10万円分については次年度に活用方法を検討します。（贈呈先77㉮）

本事業は、物価高騰等の影響をうけるひとり親家庭への経済的支援とともに、年末年始における親子の団らん機会の創出に寄与しました。

以上のとおり、本プロジェクトでは、体験機会の提供、生活支援、移動支援を組み合わせた多面的な支援を実施しました。

なお、次年度は、②オーシャンスマイル号贈呈事業の残る5台の贈呈（6月）および③キッチンカー派遣事業（4月中旬～7月上旬）を実施予定です。

＝事業費7,542万6,103円、執行率96.7%（予算7,800万円）

4 子育て応援事業

子どもたちの健やかな成長と、子育て世帯への支援を目的として、2つの助成事業を展開しました。



（1）京都新聞子育て仲間を応援（7月、助成先78～79㉮）

子育て中の保護者による団体や支援団体に対し、1団体あたり2万円を助成しています。小規模なグループやサークルにも対象を広げた事業です。



当年度は76団体（前年度84団体）から申請があり、活動内容や実績等を審査のうえ、74団体（京都府30団体、京都市15団体、滋賀県29団体）に対し、総額148万円（同80団体、160万円）を助成しました。

助成金は、子育て世帯の交流会や勉強会、季節行事等に活用されました。

＝事業費153万6,510円、執行率82.2%／予算187万円

（2）京都新聞子育て事業助成（7月、助成先80㉮）

子育て団体や子育て支援団体が実施する事業に対し、1件当たり15万円を上限として助成しています。



当年度は、23件（前年度17件）の申請があり、審査の結果、13件（京都府4、京都市4、滋賀県5件）に対し、総額83万8,000円（同13件、83万8,000円）を助成しました。

助成金は、子どもを対象としたコンサートやミュージカル、キャンプ、防災講演会等の実施に活用されました。

＝事業費84万4,690円、執行率99.4%／予算85万円

5 福祉活動支援事業

(1) 京都新聞福祉活動支援（2026年2～3月、助成先80～82㉮）



京都府および滋賀県内の福祉団体を対象に、運営と設備整備に対して幅広く助成する事業であり、事業団設立以来、名称の変遷はあるものの継続して実施しています。

当年度は、高齢者支援団体や当事者団体を対象とした特別枠（1団体100万円、3団体）と、上限30万円の通常枠（運営部門・設備部門）を設けて募集しました。

申請は、特別枠3件、通常枠の運営部門22件、設備部門14件の計39件（前年度44件）あり、2月19日（木）に選考委員会（委員名簿・資料85㉮）を開催し、以下のとおり助成を内定しました。



特別枠3件（京都市3件）に計300万円、通常枠の運営部門13件（京都府2、京都市8、滋賀県3件）に計182万円、設備部門12件（京都府3、京都市7、滋賀県2件）の計28件、総額700万円を助成しました。助成金は、運営部門では高齢者・難病当事者や子ども支援団体、障害のある人を支援するボランティアグループの活動費に、設備部門では子ども食堂や障害者施設における設備品の購入等に活用されました。

また、当年度は1団体あたりの助成上限を50万円から30万円に引き下げました。

なお、3月30日（月）に京都府立総合社会福祉会館ハートピア京都会議室において贈呈式を実施しました。＝事業費707万2,860円、執行率99.8％／予算708万5,000円

(2) 京都新聞福祉活動支援「オーシャン号（福祉車両）」贈呈事業



（4月21日、京都新聞ビル会議室/中京区、9月9日、京都日産自動車株式会社南店ショールーム/南区 助成先74㉮・選考委員85㉮）オーシャン貿易株式会社（京都市中京区）の米田多智夫名誉会長からの個人寄付を原資とした福祉車両贈呈事業です。京都府、滋賀県内の福祉団体・施設を対象に、オリジナルデザインを施したチェアキャブ（車いす仕様車）、ワゴン車、軽自動車などを「オーシャン号」として贈呈しました。

本事業の開始に先立ち、4月21日（月）に先行事業として「オーシャン号0号車」1台を福祉団体へ贈呈しました。その後、7月15日（火）に選考委員会を開催し、財務状況や利用計画等を総合的に審査した結果、申請のあった41団体の中から8団体を採択しました。9月9日（火）には、京都日産自動車株式会社南店ショールームにおいて贈呈式を開催し、採択した8団体へ車両8台を贈呈しました。これにより、0号車を含め、計9台の福祉車両を贈呈しました。＝事業費3,260万6,663円、執行率96.9％（予算3,365万円）



6 奨学金支給事業

「京都新聞愛の奨学金」贈呈（4～7月、申請者・支給者数 資料85頁・選考委員85頁）

1965年の事業団設立以来、継続して実施している重点的事業の一つです。京都府、滋賀県に生活拠点を置く高校生、大学生、専門学校生等を対象に、返済不要の奨学金を支給しています。



支給額は、高校生が年額9万円、大学生・専門学校生が同18万円とし、このほか児童養護施設の高校生を対象に奨学激励金3万円を贈呈しています。本事業は、「一般の部」「交通遺児の部」「定時制・通信制高校生の部」「児童養護施設高校生」の4部門で実施しました。当年度は、一般の部に高校生207人、大学生・専門学校生192人の計399人（前年度420人）、交通遺児の部に高校生2人、大学生10人の計12人（同10人）から申請がありました。



6月4日（水）に選考委員会を開催し、一般の部208人（高校生106、大学生・専門学校生102）、交通遺児の部10人（高校生2、大学生8）への支給を内定しました。さらに、定時制・通信制高校生の部11人と、児童養護施設高校生141人（一般の部採用者を除く）を加え、総計370人に対し、3,474万円（前年度407人、3,921万円）を贈呈しました。贈呈式は、一般、交通遺児、定時制・通信制高校生の3部門について、7月5日（土）に京都新聞文化ホールで午後から2回に分けて実施し、本人に直接奨学金を手渡しました。また、児童養護施設高校生への奨学激励金についても、同日午前施設代表者および代表生徒の出席のもと贈呈しました。



＝事業費3,502万2,177円、執行率99.2％／予算3,529万5,000円

7 福祉啓発活動事業

（1）京都新聞 朝刊「福祉のページ」編集（通年）

京都新聞を母体とする事業団にとって、新聞紙面を通じた福祉啓発や福祉情報の発信は、根幹事業の一つです。当年度も、京都新聞総合研究所の協力のもと、京都新聞朝刊（月曜日付を基本）に掲載する「福祉のページ」の制作に取り組みました。コラム「暖流」では、平等院住職の神居文彰さん、イラストレーター・こどもみらい館館長の永田萌さん、精神科医の高木俊介さん、真宗大谷派僧侶の川村妙慶さんら、多彩な8人の執筆陣により、地域福祉の課題や社会的テーマについて多角的な視点から寄稿いただきました。

また、福祉施設で働く若手職員を紹介する「若葉」、福祉現場で活躍する人を取り上げる「わたしの現場」、地域福祉活動を紹介する「広がる一地域の輪」、事業団活動を報告する「ともに生きる」などを、京都新聞OB記者の取材、執筆により週替わりで掲載しま

した。このほか、「ふれあい広場」では、京都府、滋賀県内の福祉イベントや交流会等の情報を毎週提供し、地域福祉活動の周知に努めました。

＝事業費363万4,141円、執行率91.7%／予算396万3,000円

(2) ホームページ「ともに生きる」制作（通年）



インターネットを通じて、京都新聞「福祉のページ」と連動しながら、事業団の活動や助成事業等の情報をタイムリーに発信しました。事



業団設立60周年を記念し、2024年10月にホームページおよびモバイルサイトを全面刷新するとともに、SNS「X（旧Twitter）」の公式アカウントを開設しました。また、電子決済による寄付受け付けを開始し、「善意の小箱」「誕生日おめでとう」「記念日おめでとう」「歳末ふれあい募金」などの申し込みをオンラインで行えるようにしました。さらに、事業ごとの特集ページを設け、奨学金や助成事業の実施概要、申請書類のダウンロード、事業によっては参加申し込みを直接行えるようにするなど、利用者の利便性向上を図りました。今後も福祉活動に関する情報発信を一層強化し、幅広い層に向けた寄付文化の醸成に努めます。＝事業費82万7,112円、執行率100.9%／予算82万円

(3) 「京都新聞福祉賞」「京都新聞福祉奨励賞」贈呈（9月～2026年1月）



京都新聞と事業団の連名主催により、京都府、滋賀県内で地域福祉の向上に顕著な功績のあった個人・団体に「京都新聞福祉賞」を、今後の活動が期待される若い世代や活動歴が浅い個人・団体に「京都新聞福祉奨励賞」を贈り、顕彰しています。当年度は、両府県内の福祉団体等から、福祉賞9件、福祉奨励賞11件の推薦が寄せられました。12月11日（木）に選考委員会（委員名簿・資料85頁）を開催し、福祉賞2件（2団体）、福祉奨励賞2件（2団体）の贈呈を決定しました。

福祉賞は、心臓病の子どもや家族への支援活動に取り組む「全国心臓病の子どもを守る会京都支部」（京都市上京区）と、摂食障害のある人の孤立防止や交流の場づくりに取り組む「あかりプロジェクト関西」（舞鶴市）に贈呈しました。また、子ども食堂を通じて安心できる居場所づくりに取り組む「こども食堂『からふる』」（京都市左京区）と、子ども新聞の発行を通じて地域への関心や創造性を育む活動を行う「i n o t e + P（あいのでぷらすぴー）」（京都市伏見区）に贈呈しました。

贈呈式は、2026年1月26日（月）に京都府立総合社会福祉会館ハートピア京都で実施し、大西祐資理事長から表彰状と副賞（福祉賞＝団体30万円、福祉奨励賞＝10万円）を贈呈しました。＝事業費116万3,135円、執行率99.4%／予算117万円



(4) 募金啓発事業 (通年)

事業団の活動内容や寄付金の使途・成果をわかりやすく紹介する「活動パンフレット」を作成し、寄付者の皆さまへ配布するとともに、全面刷新したホームページおよびモバイルサイトからもダウンロードできるようにし、事業への理解と協力を呼びかけています。

また、前年度からクリスタル製の「感謝の盾」を制作し、長年にわたり継続的なご寄付をいただいている方や高額寄付者、事業パートナー団体などへ贈呈しています。当年度は、個人1件に贈呈しました。

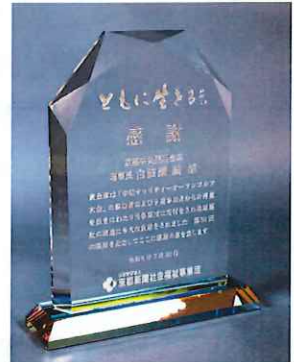
さらに、事務所移転に伴い、新事務所内の壁面に大型の常設バックボードを設置し、寄付金受領時の記録・広報に活用しています。

「愛の奨学金」では、奨学生による「寄付者への感謝の言葉」をまとめたダイジェスト版(A4判・両面)と、全奨学生のメッセージを掲載した冊子版(高校生編・大学生編)を作成し、寄付者の皆さまへ機会を捉えて届けています。

なお、広報・啓発活動を支える事業費の大半は、事務所移転に伴う住所変更対応として、封筒や活動紹介リーフレット、募金呼びかけ用印刷物等の制作費によるものです。

「歳末ふれあい募金」では、新聞折り込みチラシ32万枚、郵送用チラシ1万4,000枚、金融機関設置用の振込用紙4,000枚を作成しました。

＝事業費251万360円、執行率100.4%／予算250万円



8 ボランティア活動支援事業

京都新聞福祉ボランティアグループ「KOTOKOTO」活動 (通年)

事業団設立60周年を機に、京都新聞福祉ボランティアチームの名称を「KOTOKOTO」へ改め、ボランティアの育成および活動支援を行っています。当年度は、9月13日(土)～14日(日)に実施した「みんなで海釣りー障害のある人の体験講座」において、障害のある参加者の介助や支援活動を行いました。また、8月24日(日)の「こどもミュージックアドベンチャー」や、2026年3月21日(土)の「京都手話フェスティバル」では、会場設営や参加者の受付、誘導などの運営補助を担当しました。

＝事業費6,350円、執行率6.4%／予算10万円

KOTOKOTO
京都新聞社会福祉事業団ボランティアチーム



9 その他の福祉事業

(1) 後援・後援助成事業（通年、助成先83～84号）



福祉関連の催しやイベント等を支援する事業で、事業団名義の使用を認める「後援」と、1件10万円を上限に助成する「後援助成」を実施しています。

当年度の「後援」申請は54件（前年度49件）あり、そのうち51件を承認しました。また、「後援助成」申請は84件（同71件）の申請があり、70件に総額152万円（同61件、143万5,000円）を助成しました。残る14件のうち10件は名義後援として承認し、4件は不採択としました。助成対象は、障害者団体による講演会やスポーツ大会、ひとり親家庭の交流事業などでした。＝事業費153万9,621円、執行率96.2％／予算160万円

(2) 「ともに生きる」事業「ともに生きる」フォーラム

（2025年度から休止）



2014年度の事業団設立50周年記念事業として開始した事業です。以降、京都新聞「福祉のページ」のコラム「暖流」執筆者を中心に講師を招き、介護、共生社会、子どもの貧困など幅広いテーマを取り上げてきました。一定の役割を果たしたことから、当年度より休止しています。＝事業費0円、執行率0％／予算0円

(3) 災害見舞金・救援金

① 災害救援金

50～51号の「⑦災害救援寄付金」と内容が重複するため、省略します。＝（災害救援金）事業費1,011万4,263円、執行率337.1％／予算300万円

② 災害見舞金

当年度は該当案件がありませんでした。

＝（災害見舞金）事業費0円、執行率0％／予算30万円

(4) 経済環境急変時緊急支援

急激な経済環境の変化や不況の深刻化により、福祉施設や作業所の運営継続が困難となった場合に、緊急的な支援を行います。

支援対象の施設には、具体的な用途を明示してもらい、厳正な審査のうえで支援を決定します。当年度は該当案件がなく執行しませんでした。

10 チャリティー事業

京都新聞チャリティー美術作品展（8月～2026年2月）



44～45号の「③京都新聞チャリティー美術作品展」と内容が重複するため、省略します。＝事業費1,950万8,043円、執行率83.1％／予算2,348万円

以上

2025年度事業報告の附属明細書

2025年度「京都新聞夏季キャンプ・レク活動を応援」助成団体一覧

(単位：円)

No	団体名	地域 参加人数	内容	助成額
1	障害者多機能型事業所 西陣工房	京都市 北区 25人	大阪府市内の天王寺動物園やあべのハルカスを観光し、スパワールド（泊）、2日目は万博見学をする1泊2日の旅行。	70,000
2	空の鳥 家族交流会	伏見区 150人	滋賀県高島市のびわ湖こどもの国で、家族同士の交流を通じて悩み事を相談しあえるような絆を築くことを目的に、飯ごう炊さんやキャンプファイヤーなど。同志社びわこリトリートセンターで宿泊する1泊2日のキャンプ。	100,000
3	認定NPO法人 京都DARC	伏見区 22人	山梨県の山中湖フォレストコテージで、キャンプファイヤーやバーベキュー、星空観察などを行い仲間との交流を深める2泊3日のキャンプ。	60,000
4	山科タンタン おもちゃライブラリー	伏見区 30人	滋賀県大津市の白汀苑で、障害のある子どもや家族、ボランティアらとの交流を目的に、湖水浴を中心とした1泊2日のキャンプ。	70,000
5	京都市臨床動作法 かざぐるまの会	山科区 45人	京都市右京区の宇多野ユースホテルで、障害児・者の運動発達援助として心理リハビリテーションの技法を導入した5泊6日の動作学習キャンプ。専門講師の指導による集団集中訓練。	70,000
6	社会福祉法人 共生シンフォニー くれおカレッジ	滋賀県 大津市 20人	滋賀県高島市の想い出の森で、施設利用者が生活訓練の一環として企画したバーベキューやレクリエーションなどを楽しむ1泊2日のキャンプ。	60,000
7	かいつぶりの会	彦根市 75人	滋賀県高島市の想い出の森で、施設利用者が生活訓練の一環として企画したバーベキューやレクリエーションなどを楽しむ1泊2日のキャンプ。	70,000
合 計				500,000

2025年度 「高齢者へのプレゼント」 介助用車いす贈呈 団体一覧

No	特別養護老人ホーム名	地域	内容
1	京都八勝館	京都府八幡市	テイルト・リクライニング介助型 1 台
2	こぶしの里サテライト今宮	京都市北区	テイルト・リクライニング介助型 1 台
3	洛西	西京区	テイルト・リクライニング介助型 1 台
4	京都指月あさがおの郷	伏見区	テイルト・リクライニング介助型 1 台
5	真野しょうぶ苑	滋賀県大津市	テイルト・リクライニング介助型 1 台
6	第二邂逅の郷	彦根市	テイルト・リクライニング介助型 1 台
7	治田の里	栗東市	テイルト・リクライニング介助型 1 台
合 計			7 台

2025年度 在宅福祉サービス支援「ホームヘルプサービス活動に関する備品助成」

助成団体一覧

(単位：円)

No	団体名	地域	内容	助成額
1	NPO法人HOPE300 宇治憩の家事業所	京都市 伏見区	血圧計1台、車いす1台	29,980
2	社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会 訪問介護事業所	京都府 福知山市	入浴介助用エプロン10枚、簡易担架 シート1枚	59,880
3	社会福祉法人 綾部市社会福祉協議会 訪問介護事業所	綾部市	デジタル自動血圧計6台、集音器1台	59,620
4	社会福祉法人 亀岡市社会福祉協議会 ホームヘルプセンター	亀岡市	電子体温計5本、移動・移乗用シート 5枚、プラスチック手袋8箱、袖付デ ィスポエプロン5箱	87,527
5	社会福祉法人 長岡京市社会福祉協議会 きりしま苑	長岡京市	車いす2台	90,000
6	NPO法人 藹々	京丹後市	体温計3本、血圧計3台、ポリエチレ ン手袋10箱、プラスチックグローブ 20箱、マスク20箱、アルコールディ ス펜サー4台	88,011
7	社会福祉法人 京丹後市社会福祉協議会 久美浜支所		感染対策キット1式、プラスチックガ ウン5箱、シューズカバー1箱、手指 消毒剤4ℓ1本	42,000
8	社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会 ほほえみ八木訪問介護事業所	南丹市	プラスチック手袋M60箱、ディスポ マスク184箱	68,800
9	社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会 ほほえみかぐら訪問介護事業所		入浴介助用エプロン6枚、体温計6 個、血圧計6個	80,238
10	社会福祉法人大山崎町 社会福祉協議会	大山崎町	プラスチック手袋M20箱、サージカ ルマスク2箱	100,000
11	社会福祉法人 木津川市社会福祉協議会 ケアセンターハッピーコスモス	木津川市	血圧計5台、プラスチックグローブS 10箱、プラスチック手袋M40箱、プ ラスチック手袋L10箱	50,127
12	社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会 ヘルパーセンターほほえみ	京丹波町	メディソフトマスク100箱、電子体温 計8本	50,600
13	社会福祉法人北星会 与謝の園訪問介護事業所	与謝野町	クイックバー3501個、クイックバー 4001個、防カビプラスL1枚、回転 バスボード1個	53,317

14	社会福祉法人 与謝野町社会福祉協議会 介護事業所	与謝野町	赤外線体温計5台、手首式血圧計7台	99,880
15	社会福祉法人 丹後福祉応援団訪問介護事業所		電子体温計6本、パルスオキシメーター2個、ウェットシート10個	28,160
16	社会福祉法人 近江八幡市社会福祉協議会 ヘルパーステーションあづち	滋賀県 近江八幡市	血圧計6台、血圧計5台、電子体温計11本	91,660
17	社会福祉法人 栗東市社会福祉協議会 訪問介護事業所	栗東市	消毒液2本、ペーパータオル3箱、漂白剤2本、フィットマスク41箱、プラスチック手袋28箱	98,703
18	社会福祉法人 甲賀市社会福祉協議会 ヘルパーステーションこうか	甲賀市	フレックスボード1台、移動介助グローブ5組、血圧計2台、移動・移乗用シート3枚、電子体温計5台	99,000
19	社会福祉法人日野町社会福祉協議会 ホームヘルパーステーション ひだまり	日野町	血圧計3台、サージカルマスク75箱、洗髪器1台、消毒液8本	100,000
合 計				1,377,503

2025年度 「児童養護施設レクリエーション」 助成先一覧

(単位：円)

No	施設名	地域	参加児童人数	内容（行先や活動内容）	助成額
1	舞鶴学園	京都府 舞鶴市	22	ひらかたパーク、海遊館、フルーツフラワーパーク、ラウンドワン高槻店など4グループで実施。	79,400
2	舞鶴双葉寮		36	全員で神戸須磨シーワールド訪問。	117,200
3	青葉学園	亀岡市	29	施設内の生活棟ごとに実施。1棟は、棟内でクリスマス会、4棟は、外食でクリスマス会を行い5グループで実施。	98,300
4	てらす峰夢	京丹後市	20	琴引浜鳴き砂文化館、映画鑑賞（4グループ）、きのこの森・こども家族館、スシローで外食（2グループ）、ガストで外食など6グループで実施。	74,000
5	京都大和の家	精華町	32	六甲山アスレチックパークGREENIA、姫路セントラルパーク（2グループ）、ナガシマスパーランド、スパワールド、おやつタウンなど6グループで実施	106,400
6	京都聖嬰会	京都市 北区	40	イオンモール桂川ビュッフェ外食、大津市科学館、希望が丘文化公園、焼肉外食と市内散策（2グループ）、ショッピングと夕食会など6グループで実施。	128,000

7	和敬学園	上京区	34	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）、ラウンドワンと外食、映画鑑賞と外食（3グループ）など5グループで実施。	111,800
8	迦陵園	左京区	26	園内でお寿司テイクアウトで節分祭、鳥羽水族館とスペイン村への鳥羽旅行、朽木スキー場と雪遊び宿泊、六甲山スキー宿泊の4グループで実施。	90,200
9	平安養育院	東山区	44	年末年始行事（12/31-1/3実施）院内で夕食をいつもと違うメニューで実施。	138,800
10	つばさ園	西京区	52	福井旅行、スキー（年齢別で3グループ）、The kids、ひらかたパーク、みかん狩り、いちご狩り、関西サイクルスポーツセンターなど12グループで実施。	160,400
11	積慶園		49	ラウンドワン（2グループ）、ひらかたパーク（2グループ）、鈴鹿サーキット、USJ（2グループ）、映画鑑賞、VS PARK、焼肉外食（2グループ）など小グループで実施。	152,300
12	平安徳義会養護園		31	ニフレで魚の観察や生き物のふれあいゾーンを体験（幼児）、ボウリング（小学生～高校生で班に分かれて実施）。	103,700
13	桃山学園	伏見区	22	クリスマス会（12/24実施）、年始にラウンドワン・カラオケと外食（1/2、3、4実施）を全員参加で実施。	79,400
14	湘南学園	滋賀県大津市	28	京都市動物園、ピュアハートキッズランド、草津イルミネーションと銭湯、大津市科学館プラネタリウム、びわ湖バレイ雪遊び、など少人数のグループで実施。	95,600
15	小鳩の家		41	カップヌードルミュージアム、ニフレ、コストコと天葉の湯、草津湯元水春（岩盤浴）、清水寺とポケモンセンターキョウト、京都水族館、京都市動物園など少人数で実施。	130,700
16	守山学園	守山市	30	ナガシマスパーランド、ボウケンノモリ、ロゴスランド、芝政ワールド、シンビオシスファーム、神戸動物王国、神戸ベイクルーズ、神戸ポートタワーなどホーム別で実施。	101,000
17	鹿深の家	甲賀市	34	チームラボ京都、ブルームの丘、名古屋散策、信楽散策、京都散策、草津散策、ラウンドワン、映画鑑賞、ショッピング、外食など少人数で実施。	111,800
合 計			570	合 計	1,879,000

2025年度「児童養護施設生徒卒業お祝い金」贈呈先一覧

(単位：円)

No	施設名	地域	中学卒業人数	高校卒業人数	助成額
1	舞鶴学園	京都府 舞鶴市	0	4	160,000
2	舞鶴双葉寮		0	3	120,000
3	青葉学園	亀岡市	0	1	40,000
4	てらす峰夢	京丹後市	0	0	0
5	京都大和の家	精華町	1	4	180,000
6	京都聖嬰会	京都市 北区	0	7	280,000
7	和敬学園	上京区	0	4	160,000
8	迦陵園	左京区	0	2	80,000
9	平安養育院	東山区	0	5	200,000
10	つばさ園	西京区	0	6	240,000
11	積慶園		0	5	200,000
12	平安徳義会養護園		0	2	80,000
13	桃山学園	伏見区	0	2	80,000
14	湘南学園	滋賀県 大津市	0	1	40,000
15	小鳩の家		0	3	120,000
16	守山学園	守山市	1	1	60,000
17	鹿深の家	甲賀市	0	3	120,000
合 計			2	53	2,160,000

※No.4の1施設は該当者なし

2025年度 京都新聞福祉活動支援「オーシャン号（福祉車両）」贈呈事業

	贈呈団体	地域	贈呈車種
1	社会福祉法人博愛福祉会 デイサービスセンターグリーンプラザ博愛	京都府 舞鶴市	クリッパーリオチェアキャブ 1台
2	社会福祉法人京丹後市社会福祉協議会 京丹後市やさか老人福祉施設ふくじゅ	京丹後市	セレナチェアキャブ 1台
3	社会福祉法人山城福祉会 榎島福祉の園	宇治市	キャラバン送迎ワゴンDX 1台
4	社会福祉法人西陣会 デイセンターふらっと	京都市 上京区	セレナLV送迎タイプ e-POWER X 1台
5	特定非営利活動法人 日本自立生活センター 自立支援事業所	南区	日産キャラバン チェアキャブ 1台
6	社会福祉法人おおつ福祉会 社会就労センターあおぞら	滋賀県 大津市	セレナLV送迎タイプ e-POWER X 1台
7	社会福祉法人湘南学園 児童養護施設湘南学園	大津市	ルークスXターボ 1台
8	社会福祉法人白蓮 もりやま作業所	守山市	セレナLV送迎タイプ e-POWER X 1台
合 計			8 台

本贈呈事業の実施に先立って4月に0号車を贈呈

9	社会福祉法人京都障害者福祉センター	京都市 南区	セレナチェアキャブ 1台
合 計			1台



2025年度 京都新聞オーシャンスマイルこども未来プロジェクト
「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン貸切バスツアー招待事業」

(単位：人)

No	施設名	地域	3歳まで	4～11歳	12歳以上	職員	合計
1	舞鶴学園	京都府	0	10	10	16	36
2	舞鶴双葉寮	舞鶴市	0	15	23	17	55
3	青葉学園	亀岡市	0	15	6	12	33
4	てらす峰夢 峰山乳児院	京丹後市	0	15	9	15	39
5	京都大和の家 乳児院京都大和の家	精華町	7	15	15	25	62
6	京都聖嬰会	京都市 北区	0	7	22	16	45
7	和敬学園	上京区	0	21	11	20	52
8	迦陵園	左京区	0	4	12	8	24
9	平安養育院	東山区	0	22	23	21	66
10	つばさ園 ももの木学園	西京区	0	21	37	18	76
11	積慶園 乳児院積慶園		12	20	16	33	81
12	平安徳義会養護園 平安徳義会乳児院		0	19	18	14	51
13	桃山学園	伏見区	0	8	7	10	25
14	湘南学園	滋賀県 大津市	0	15	6	13	34
15	小鳩の家 小鳩乳児院		0	20	16	29	65
16	守山学園	守山市	0	19	15	22	56
17	鹿深の家	甲賀市	0	6	28	13	47
合 計			19	252	274	302	847

2025年度 京都新聞オーシャンスマイルこども未来プロジェクト
「オーシャンスマイル号贈呈事業」 贈呈施設一覧

No	施設名	地域
1	舞鶴学園	京都府舞鶴市
2	舞鶴双葉寮	
3	青葉学園	亀岡市
4	京都大和の家	精華町
5	和敬学園	京都市上京区
6	平安養育院	東山区
7	湘南学園	滋賀県大津市
8	小鳩の家	
9	守山学園	守山市
10	鹿深の家	甲賀市
合計	ハイブリッド車（トヨタ・シエンタ7人乗り）	10台



2025年度 京都新聞オーシャンスマイルこども未来プロジェクト
「くら寿司食事券贈呈事業」

ひとり親世帯

(単位：世帯)

No	施設名	地域	会員世帯数
1	(社福) 京都母子寡婦福祉連合会	京都市中京区	874
2	(一社) 京都ひとり親家庭福祉連合会	左京区	210
3	(社福) 滋賀県母子福祉のぞみ会	滋賀県大津市	551
母子生活支援施設			
4	府立東山母子生活支援施設 (東山ファミリーホーム)	京都市東山区	10
5	ヴェインテ	山科区	20
6	本願寺ウィスタリアガーデン	右京区	16
7	野菊荘		34
8	母と子の家しらゆり	滋賀県大津市	8
9	コーポのぞみ	彦根市	15
世帯数 合 計			1,738
贈呈額 合計 (各世帯に500円×20枚 1万円分のお食事券贈呈) 単位：円			17,380,000

児童養護施設

(単位：円)

No	施設名	地域	お食事券の金額
1	舞鶴学園	京都府	50,000
2	舞鶴双葉寮	舞鶴市	50,000
3	青葉学園	亀岡市	50,000
4	てらす峰夢	京丹後市	50,000
5	京都大和の家	精華町	50,000
6	京都聖嬰会	京都市北区	50,000
7	和敬学園	上京区	50,000
8	迦陵園	左京区	50,000
9	平安養育院	東山区	50,000
10	つばさ園	西京区	50,000
11	積慶園		50,000
12	平安徳義会養護園		50,000
13	桃山学園	伏見区	50,000
14	湘南学園	滋賀県 大津市	50,000
15	小鳩の家		50,000
16	守山学園	守山市	50,000
17	鹿深の家	甲賀市	50,000
贈呈額 合 計			850,000

2025年度 「京都新聞子育て仲間を応援」助成団体一覧

No	団体名	地域
1	石原ママサークルいいともさ	京都府福知山市
2	産前・産後わたしの健康づくり ままいろ	舞鶴市
3	宇治市木幡地区民生児童委員協議会「ピンポンはーい」	宇治市
4	ポヨポヨキッズ	
5	どんぐりっこ	
6	吉津子育てサロン「ちえのわ」	宮津市
7	子育てサロンひかり	
8	いちばん星	
9	あそぼ	城陽市
10	ママ工房 J 40	
11	T I K I T I K I O H A N A	
12	ボ育て洛西口	向日市
13	イトーピア文庫	
14	DONALD	京田辺市
15	育児サークルpooh	
16	京田辺子育てママ応援し隊はいはい	
17	子育てサロン ぽっぽ(歩・歩)クラブ	京丹後市
18	スマイルプレイス	京都府大山崎町
19	せいか食育劇団もぐもぐ	精華町
20	どろんこクラブ	
21	育児サークル「かたつむり」	
22	精華台四丁目育児サークルすとりべりい	
23	ごきげんよう	
24	育児支援サークル「あゆみちゃん」	
25	南区育児サークル「みつくすじゅーす」	
26	桜が丘四丁目育児サークル子育て広場	
27	光台九丁目育児サークル「9ぴーちゃん」	井手町
28	子育てサークルさんさん会	
29	子育てサークル竹の子ひろば	与謝野町
30	ゆるり会	
31	楽只学区子育てサロン『ラッコひろば』	京都市北区
32	京都市こども育脳&英語サークルK B E (Kyoto Brain&English)	
33	歌声サークル たう♪たう♪ファミリー♪	中京区
34	親子サロン「きしゃぽっぽ」	下京区
35	京都科学読み物研究会	
36	グラベリ会	南区
37	子育てサークル やんちゃあず	

38	山科子育て応援団	山科区
39	梅津地域子育てサロン「ちょっと来てみませんか」	右京区
40	たんぽぽ文庫	
41	このはな文庫	
42	オープンスペース 祐の風	西京区
43	小栗栖むりょう塾	伏見区
44	t e t o t e t o	
45	ココトモ	
46	あいあい文庫	滋賀県大津市
47	ほっこりハウス☆住人十彩	
48	木戸小学校おやじの会	
49	どんぐり座	彦根市
50	ひこねわくわくおっぱい塾	
51	おむすび321	長浜市
52	スマイル キッズ	
53	子育てサークル「ちびーず」	東近江市
54	なんぶっ子	
55	子育てサークル「ぽっぷ八日市」	
56	ひまわりおはなし会	
57	ちびパーク	
58	紙芝居サークルてんとうむし	
59	市辺キッズ	
60	おはなしマーガレット	
61	おはなしポッケ	
62	御園ちびっ子サークル	
63	H a p p y L a n d サークル	草津市
64	おやこダンスカンパニー チチカカコ	
65	ママとキッズのコーラス隊COLORS	
66	たすけ愛隊 ママの手	
67	つながる	
68	常盤子育てサロン ひまわり	野洲市
69	子育てサロン「コスモスの会」	
70	M o m ' s h e a r t	
71	子育てサークル M A N I M A N I K I D S	米原市
72	おにぎりサークル	
73	M A N I M A N I	
74	M A M A P A S S P O R T 東近江日野	滋賀県日野町
助成額は1団体あたり20,000円×74団体		1,480,000

2025年度「京都新聞子育て事業助成」助成団体一覧

(単位:円)

No	団体名	地域	助成額
1	みんなのひろば いろどり	京都府 向日市	50,000
2	f a m f a r m	京田辺市	70,000
3	子育てママのつながるBOSA I	木津川市	60,000
4	ままもりっこ	与謝野町	70,000
5	NPO法人冒険キャンプ実行委員会	京都市 下京区	80,000
6	空き家バンク京都子ども食堂	南区	80,000
7	ことえほん	山科区	50,000
8	アンサンブル・パレット	西京区	50,000
9	逢坂S m i l e door子ども食堂	滋賀県 大津市	80,000
10	子育て広場スキップ	長浜市	30,000
11	子育て支援グループはな・はな	草津市	80,000
12	長浜おやこ劇場	長浜市	80,000
13	ぱれっとしが	日野町	58,000
合 計			838,000

2025年度「京都新聞福祉活動支援」助成団体一覧

【特別枠】

(単位:円)

No	団体名	地域	内容	助成額
1	京都ケアラーネット	京都市 北区	高齢者などをケアするケアラーやケアについて、ともに学ぶ市民公開講座の開催や啓発書・パンフレット作成などの活動費。	1,000,000
2	公益社団法人認知症の人と家族の会	上京区	世界アルツハイマーデーを中心にした講演会の開催やパンフレットなどを作成し、認知症の啓発活動を広めるための活動費。	1,000,000
3	ハンド&ネイルケアボランティアチーム ガンチャー	左京区	高齢者施設や高齢者サロンに福祉ネイリストらが訪問し、ハンド&ネイルケアを無償で実施。ネイル用品の購入や訪問事業拡大の活動費。	1,000,000
小 計				3,000,000

【通常枠・運営助成】

(単位:円)

No	団体名	地域	内容	助成額
1	NPO法人 京よりそい	京都府 宇治市	心の悩み相談を軸として傾聴を無償で行う電話相談やよりそいカフェの開催、環境保護の清掃や啓発活動を行うための活動費。	220,000
2	『くらしの応援隊』 ボランティアの会	長岡京市	地域のスポーツ大会やイベントの手伝い、花壇の水やり、美化活動などのボランティアを無償で行うための交通費の片道補助や活動費。	100,000
3	自閉症eサービス@ 京都・滋賀	京都市 上京区	自閉症の人が暮らし慣れた地域でともに生きることができる社会になることを目的に行う実践ワークショップやベーシック講座、アセスメントセミナーの活動費。	300,000
4	つるかめ笑顔クラブ		高齢者を対象にしたフレイル・認知症予防や健康づくりのための「思い出語りの会」「つるかめウォーク」の活動費。	120,000
5	京都府網膜色素変性症協会	中京区	視覚障害のある人を対象にしたミニ交流会を京都市内及び府北部と南部で行うための交通費や交流事業、啓発用リーフレット作成などの活動費。	160,000
6	NPO法人お客様がいらっしゃいました。	下京区	生理用品を経済的な理由で入手できない生理の貧困の解消に向けた支援、生理の知識発信などの活動費。	200,000
7	NPO法人京都障害福祉 デジタル化推進協会	左京区	障害者アーティストの作品をより広く地域住民に届けるためにデジタル額縁を使って展示や展覧会を開催。デモ動画の作成費などの活動費の一部。	150,000
8	NPO法人 助けあいグループりぼん	東山区	介護保険制度外の人への支援、高齢者の生活援助活動を行うグループの電話受付当番ボランティアの交通費の一部。	100,000
9	京都YMCA 長岡こおろぎ	西京区	視覚障害のある人を対象にした朗読ボランティアグループの活動で音訳デージーCD、テープの制作などの活動費。	70,000
10	ジョイント西京 視覚障害者ボランティア		西京区在住の視覚障害のある人の外出支援や地域のイベント会場や小中学校などで福祉授業などを行う活動費。	50,000
11	おうさか高齢者 フレイルケアの会	滋賀県 大津市	フレイル期間の高齢者を対象にした健康保持増進のラジオ・ストレッチ体操、ウォーキングなど朝活動や健康食作り教室を行うための活動費。	100,000
12	一般社団法人 異才ネットワーク		発達障害児を含む不登校生が安心して通所できるためのグッズや看板等の設置などの広報活動費の一部。	150,000
13	NPO法人元気っずミーオ 放課後等デイサービス げんき	草津市	様々な特性をもつ障害のある子どもと親が参加する外出レクリエーションの活動費の一部。	100,000
小 計				1,820,000

【通常枠・設備助成】

(単位:円)

No	団体名	地域	内容	助成額
1	NPO法人 で・らいと チェリー工房	京都府 城陽市	【業務用ミシン1台購入費の一部】障害のある人の就労継続支援B型事業所で布雑貨の縫製作業に使用する業務用ミシン購入の一部。	100,000
2	向日市点訳サークル 「きつつき」	向日市	【パソコン1台購入費】視覚障害のある人に、点字を通じて情報提供する点訳サークルで点訳作業に使用するパソコンと点訳ソフトの購入費。	140,000
3	NPO法人 乙訓障害者事業協会 就労継続支援B型事業所バスハウス	長岡京市	【レーザー彫刻機の購入費の一部】障害の有無に関わらず、様々な問題を抱えた人が就労する就労継続支援B型事業所で新製品「竹すだれコースター」に付加価値をつけるためのレーザー彫刻機購入の一部。	100,000
4	社会福祉法人 京都西陣福祉会 就労継続支援B型事業所西陣工房	京都市 北区	【炊飯器1台の購入費】障害のある人の就労継続支援B型事業所で給食業務で培った調理設備や技術を活用し始めた食堂業務で使用するハイグレードモデル炊飯器の購入費。	100,000
5	NPO法人 障害者芸術推進研究機構		【高精細スキャナとパソコンの購入費の一部】障害のある人の作品をアーカイブ保存するためのA3サイズ高精細フラットベッドスキャナとパソコン購入の一部。	300,000
6	公益社団法人 京都犯罪被害者支援センター	上京区	【コンパクトカメラ、バッテリーパックの購入費】犯罪や事故などの被害に遭われた人、家族、遺族が被害から回復するための支援活動で、記録や広報に使用するコンパクトカメラの購入費。	80,000
7	NPO法人 チャイルドライン京都	山科区	【チャット用パソコン2台の購入費】子どもが心豊かに生きやすくなるよう電話相談業務を行う。新規事業のオンラインチャットで使用する受け手・支え手用パソコンの購入費。	220,000
8	洛西寮朗読 ボランティアサークル	西京区	【EPSONディスクデュプリケーターPP-50IIの購入費】視覚障害のある人に様々な情報を「声」で伝えるボランティア活動で使用するCDへ情報を記録する複製機の購入費。	220,000
9	ありがとう	伏見区	【キッチン新設費の一部】子ども食堂を行う活動場所にキッチンを新設。ガス台、シンク、レンジフード、ガスコンロ等購入の一部。	240,000
10	あまつこども食堂		【物置と玄関用踏み台の購入費】子ども食堂を行う活動場所で活動備品を収納する物置と靴収納付き踏み台の購入費。	160,000
11	社会福祉法人 滋賀県母子福祉のぞみ会	滋賀県 大津市	【和式便器から洋式便器への改修費の一部】ひとり親家庭の孤立防止や子どもの居場所づくりのための施設の和式便器から洋式便器への改修費の一部。	300,000
12	あじっこ	米原市	【エアコン1台の購入費】子どもたちが屋外で自然の中で遊びや食を通じて集えるプレーパークを運営。悪天候や猛暑時にシェルターとして機能させる屋内小屋に設置するエアコンの購入費。	220,000
小 計				2,180,000
特別枠・通常枠 (運営・設備) 合 計				7,000,000

2025年度 「後援助成」 助成団体一覧

(単位：円)

No	実施日	団体名	助成額
1	4月29日	ふれあいネット京都	20,000
2	4月29日	京都西陣福祉会	20,000
3	4月12日	京都ほっとはあとセンター市内ブロック	15,000
4	4月27日	障害のある子どもたちと音楽を楽しむ会	20,000
5	5月6日	ゴリスタ Angels Day	20,000
6	5月25日	登校拒否・不登校問題滋賀県連絡会	20,000
7	5月30日	GG's 者語	20,000
8	5月24日	NPO法人きょうと介護保険にかかわる会	15,000
9	5月18日	公益財団法人関西盲導犬協会	20,000
10	5月17日	長岡京市身体障がい者団体連合会	20,000
11	5月18日	社会福祉法人京都府母子寡婦福祉連合会	200,000
12	5月25日	京都府児童福祉施設連絡協議会	10,000
13	6月8日	舞鶴市身体障害者団体連合会	30,000
14	6月14日	みんなで楽しむコンサート実行委員会	30,000
15	6月14日	宇治市障害者スポーツ大会実行委員会	20,000
16	6月21日	京都障がい者フライングディスク協会	20,000
17	7月10日・11日	近畿救護施設協議会	20,000
18	7月26日	相模原殺傷事件を考える実行委員会	20,000
19	7月12日	NPO法人子育てサポートひょうたん山	20,000
20	7月5日	公益財団法人おりづる会	20,000
21	7月13日,10月19日,1月18日	京都言友会	20,000
22	8月8日～10日	第58回全国手話問題研究集会～サマーフォーラムin きょうと～実行委員会	20,000
23	8月31日	生涯学習支援グループWITH	10,000
24	9月6日	公益社団法人京都精神保健福祉推進家族会連合会	30,000
25	9月6日	京都府里親会	20,000
26	9月25日	南区における地域と障害者福祉事業所の地域福祉 プラットフォーム推進事業	10,000
27	9月13日	京都府中途失聴・難聴者協会	10,000
28	9月23日	R e d u c a t i o n	10,000
29	10月18日,12月15日,3月28日	GG's 者語	20,000
30	10月13日	特定非営利活動法人暮らしのコツ研究所	10,000
31	10月14日	p o n o	10,000
32	10月5日	一般社団法人京都府聴覚障害者協会	30,000
33	10月12日	NPO法人京都ダンス振興協会	10,000
34	10月18日	社会福祉法人京都視覚障害者支援センター	20,000
35	10月4日	生活協同組合 生活クラブエル・コープ	20,000